

平成29年度

第2回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	平成29年度 市政モニター 180人
調査期間	平成29年9月1日（金）～平成29年9月15日（金）
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	④ ごみの減量と3Rの推進について ⑤ 新居浜市の認知症施策の周知度調査 ⑥ 新居浜市の観光振興について

回答率

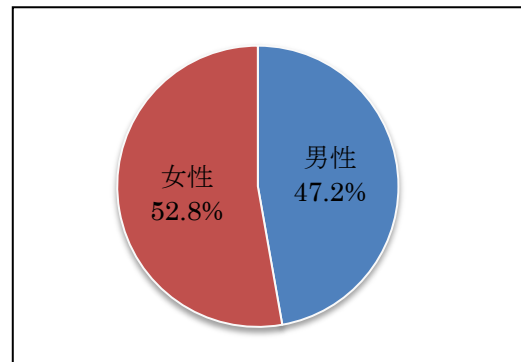
テーマ	モニター数（人）	回答者数（人）	回答率
④	180	160	88.9%
⑤	180	154	85.6%
⑥	180	154	85.6%

2 市政モニター内訳（※平成29年9月1日時点）

〈性別〉

（単位：人）

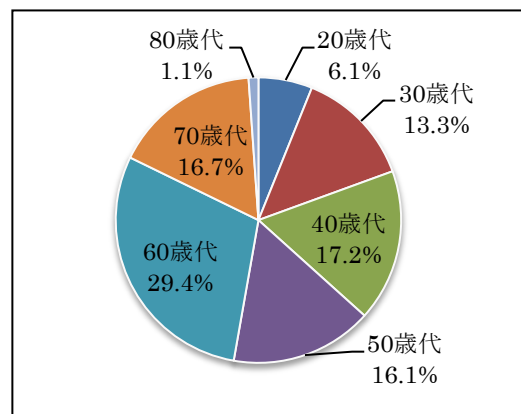
男性	85 (47.2%)
女性	95 (52.8%)
合計	180 (100.0%)



〈年代別〉

（単位：人）

	男性	女性	合計
20歳代	2	9	11 (6.1%)
30歳代	4	20	24 (13.3%)
40歳代	8	23	31 (17.2%)
50歳代	12	17	29 (16.1%)
60歳代	35	18	53 (29.4%)
70歳代	22	8	30 (16.7%)
80歳以上	2	0	2 (1.1%)



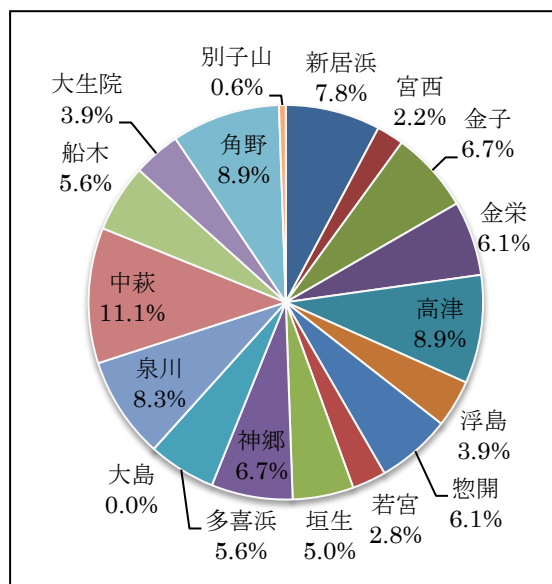
※年齢は平成29年4月1日時点

〈居住地域（小学校校区）別〉

（単位：人）

	男性	女性	合計
新居浜	2	12	14 (7.8%)
宮西	3	1	4 (2.2%)
金子	10	2	12 (6.7%)

金栄	3	8	11 (6.1%)
高津	9	7	16 (8.9%)
浮島	4	3	7 (3.9%)
惣開	3	8	11 (6.1%)
若宮	4	1	5 (2.8%)
垣生	3	6	9 (5.0%)
神郷	7	5	12 (6.7%)
多喜浜	3	7	10 (5.6%)
大島	0	0	0 (0.0%)
泉川	12	3	15 (8.3%)
中萩	6	14	20 (11.1%)
船木	5	5	10 (5.6%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	8	8	16 (8.9%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



〈回答方法 種別〉

(単位：人)

郵送モニター	92 (51.1%)
Eメールモニター	88 (48.9%)
合計	180 (100.0%)

〈選任方法 種別〉

(単位：人)

公民館推薦	94 (52.2%)
公募	86 (47.8%)
合計	180 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ④ ごみの減量と3Rの推進について

【調査趣旨】

新居浜市では、「地域に優しい、地球に優しい暮らしの実現」のため、ごみの減量と3Rの推進に取り組んでいますが、一人1日当たりごみ排出量は県平均より多く、リサイクル率は県平均より低い状況です。

今回のアンケートでは、ごみの減量とリサイクルについて、市民の皆さんの意識や意見を調査し、新居浜市のごみの減量と3Rの推進に活用していきたいと考えています。

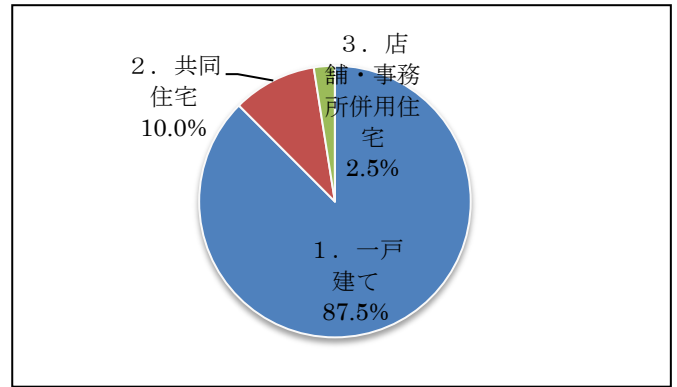
※3Rとは…ごみの発生抑制 (Reduce リデュース)、再使用 (Reuse リユース)、再資源化 (Recycle リサイクル) の3つのRの総称です。

(担当課：ごみ減量課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 居住形態を教えてください。(1つ選択)

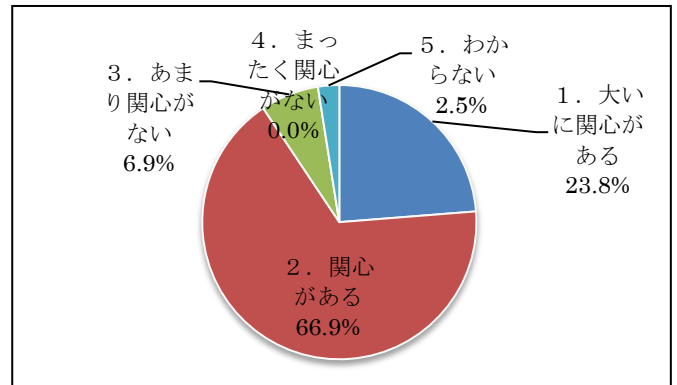
1. 一戸建て	140人
2. 共同住宅(アパート、マンション)	16人
3. 店舗・事務所併用住宅	4人
4. その他	0人
合計	160人



「1. 一戸建て」(87.5%)と答えた方が最も多くなっています。

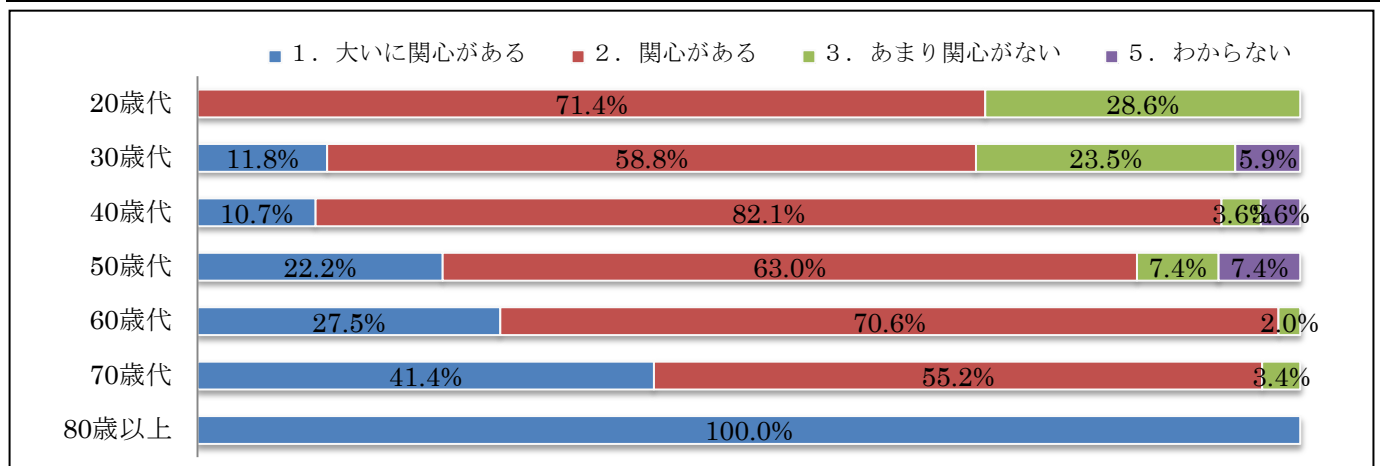
問3. ごみの減量や3Rの推進について関心がありますか。(1つ選択)

1. 大いに関心がある	38人
2. 関心がある	107人
3. あまり関心がない	11人
4. まったく関心がない	0人
5. わからない	4人
合計	160人



【クロス集計(年代別)】

	1. 大いに関心がある	2. 関心がある	3. あまり関心がない	4. まったく関心がない	5. わからない	合計
20歳代	0人	5人	2人	0人	0人	7人
30歳代	2人	10人	4人	0人	1人	17人
40歳代	3人	23人	1人	0人	1人	28人
50歳代	6人	17人	2人	0人	2人	27人
60歳代	14人	36人	1人	0人	0人	51人
70歳代	12人	16人	1人	0人	0人	29人
80歳以上	1人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	38人	107人	11人	0人	4人	160人

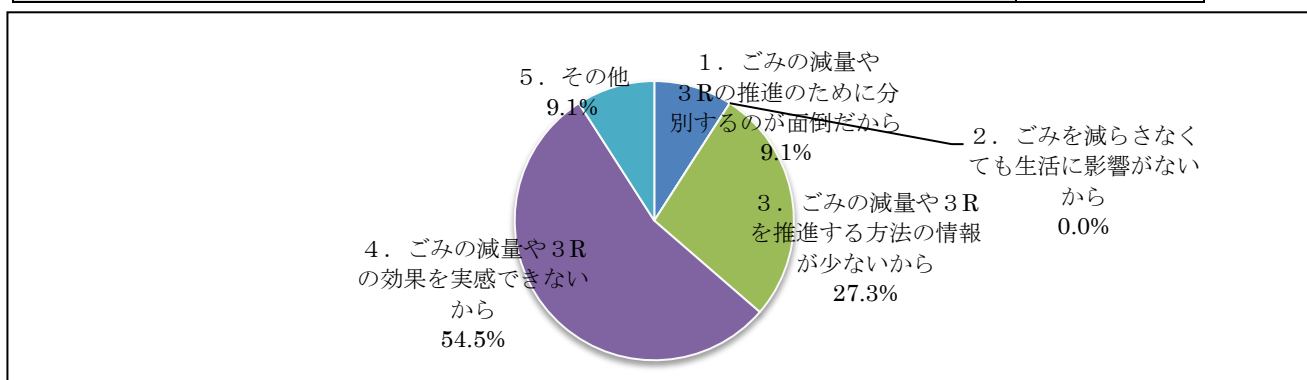


全体で見ると、「2. 関心がある」(66.9%)と答えた方が最も多く、「1. 大いに関心がある」(23.8%)を合わせて、9割以上の方がごみの減量や3Rの推進に関心があることがわかりました。

年代別に見ると、年代が高いほど「1. 大いに関心がある」と答えた方の割合が多くなっています。

問4. 問3で「3. あまり関心がない」又は「4. まったく関心がない」と答えた方にお伺いします。関心がない理由は何ですか。(1つ選択)

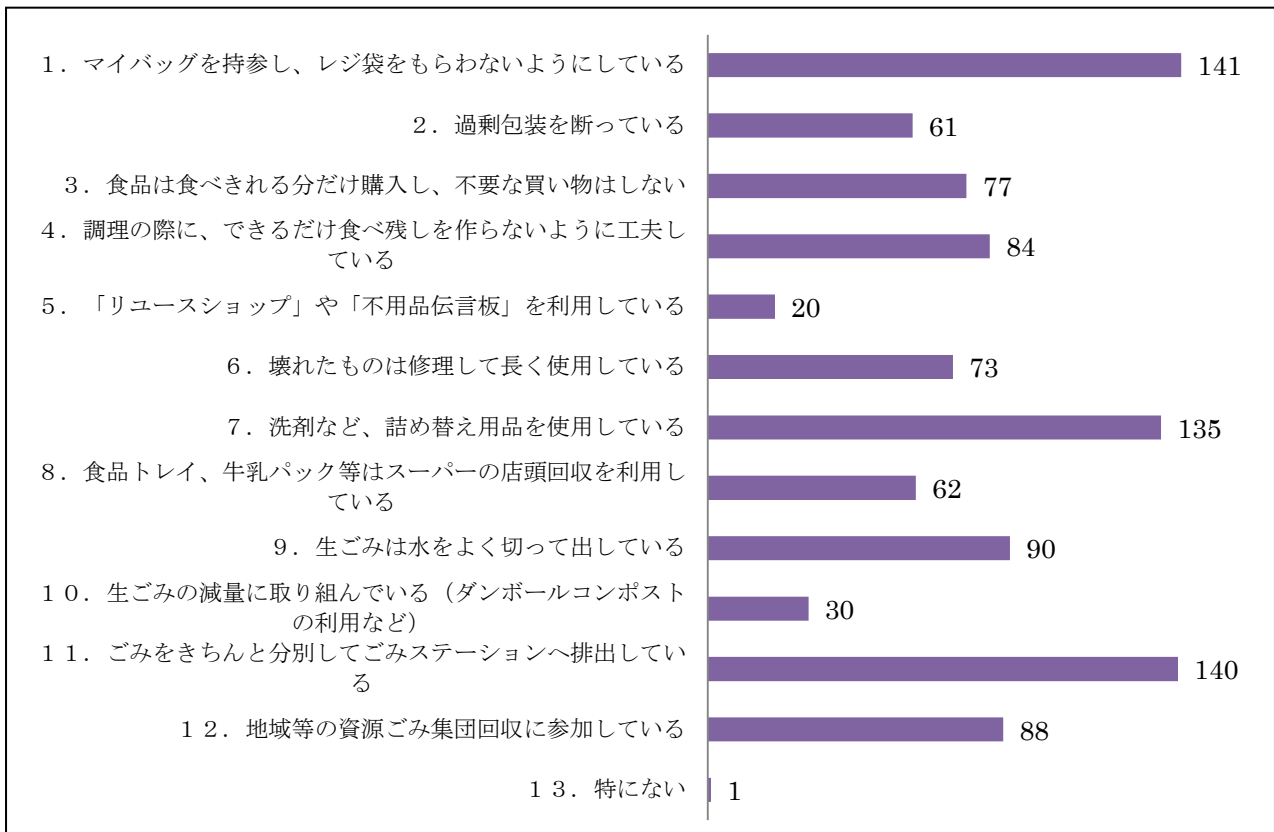
1. ごみの減量や3Rの推進のために分別するのが面倒だから	1人
2. ごみを減らさなくても生活に影響がないから	0人
3. ごみの減量や3Rを推進する方法の情報が少ないから	3人
4. ごみの減量や3Rの効果を実感できないから	6人
5. その他	1人
合計	11人



問3で「3. あまり関心がない」と答えた方は全体の6.9%ですが、その理由としては「4. ごみの減量や3Rの効果を実感できないから」(54.5%)、次いで「3. ごみの減量や3Rを推進する方法の情報が少ないから」(27.3%)が多くなっています。

問5. ごみの減量や3Rの推進について具体的に取り組んでいることを教えてください。(複数選択)

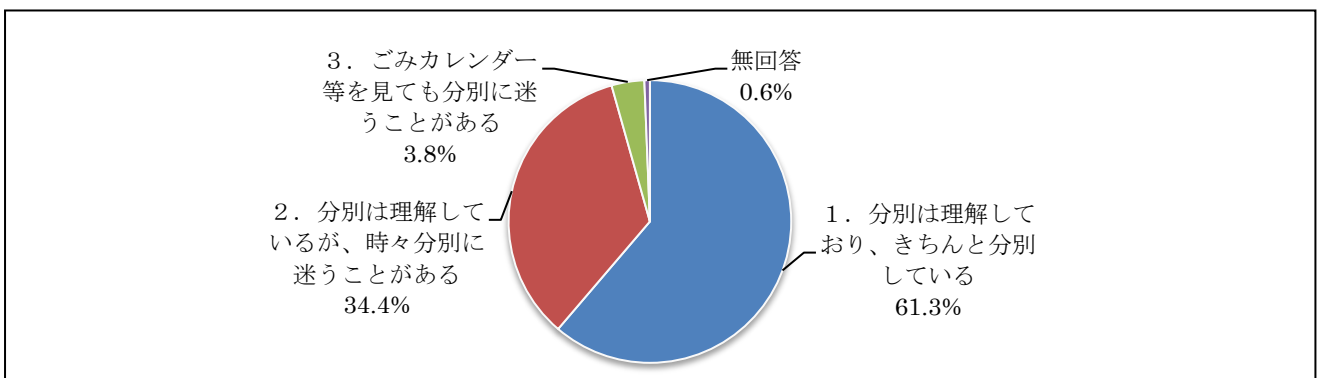
1. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしている	141人
2. 過剰包装を断っている	61人
3. 食品は食べきれ的分だけ購入し、不要な買い物はしない	77人
4. 調理の際に、できるだけ食べ残しを作らないように工夫している	84人
5. 「リユースショップ」や「不用品伝言板」を利用している	20人
6. 壊れたものは修理して長く使用している	73人
7. 洗剤など、詰め替え用品を使用している	135人
8. 食品トレイ、牛乳パック等はスーパーの店頭回収を利用している	62人
9. 生ごみは水をよく切って出している	90人
10. 生ごみの減量に取り組んでいる(ダンボールコンポストの利用など)	30人
11. ごみをきちんと分別してごみステーションへ排出している	140人
12. 地域等の資源ごみ集団回収に参加している	88人
13. 特にない	1人



「1. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」（141人）、「11. ごみをきちんと分別してごみステーションへ排出している」（140人）、「7. 洗剤など、詰め替え用品を使用している」（135人）などが、ごみの減量や3Rの推進について具体的に取り組んでいることとして多く挙げられています。

問6. 新居浜市では、ごみは10種類に分別していますが、ごみの分別はどのようにしていますか。（1つ選択）

1. 分別は理解しており、きちんと分別している	98人
2. 分別は理解しているが、時々分別に迷うことがある	55人
3. ごみカレンダー等を見ても分別に迷うことがある	6人
無回答	1人
合計	160人



「1. 分別は理解しており、きちんと分別している」（61.3%）と答えた方が最も多く、全体の6割以上を占めています。

問7. 問6で「2. 分別は理解しているが時々分別に迷うことがある」又は「3. ごみカレンダー等を見ても分別に迷うことがある」と答えた方にお伺いします。

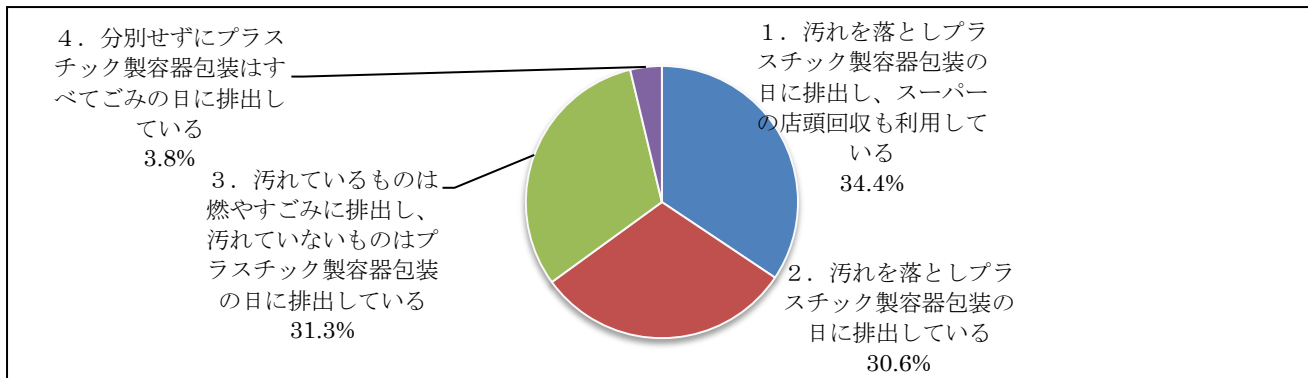
どのようなことで分別に迷われますか。具体的にお書きください。

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・ 普段捨てないけど、たまに出るごみは分別方法に迷う。
- ・ ごみカレンダーに記載のないもの等。その都度、新居浜市ホームページで確認するが、高齢者には難しい。
- ・ プラスチック包装容器やペットボトル以外の合成樹脂は燃えるごみでいいか。
- ・ シールが貼られたプラスチック製容器。
- ・ プラスチックの汚れが少し残る場合、可燃ごみなのかプラなのか。
- ・ 数種類の性質でできているものの処分方法。分解できればいいが、無理なものは不燃で出している。
- ・ バッグやおもちゃなど、金属部分やゴムの部分など1つの製品に複数の素材が使用されている時に何に分類されるのか悩みます。
- ・ 割れた食器、やかん、フライパンなど大きさや素材など難しく感じる時がある。家族によるとごみカレンダーの文字が小さく見えにくい、わかりにくい、と困っている様子です。
- ・ 殺虫剤や化粧品などのスプレー缶は資源ごみか雑ごみか迷います。
- ・ 香水やマニキュアなどは中身が入ったままの状態ビンの日に出すのか、不燃で出すのか。靴は燃えるごみとカレンダーにあるが、女性もののハイヒールで止め具が金属の場合、可能か。
- ・ 缶詰のふたの部分など、主たるごみではない場合に迷います。
- ・ 布類。どんな布なら出して良かったのか忘れる。他の収集場所では出せるけれど、市の布類収集では駄目なものなどあり、間違えそう。
- ・ 月に一度の布類の回収ですが、どの程度のものが出せるか悩みます。誰かが着るためのリサイクルですか？ウエスとかになるのですか？
- ・ 油等で汚れた缶、ペットボトル等の分別。
- ・ 壊れた電気製品で、小型とはどの程度なのか。
- ・ 鍋やフライパン、トースター、電子レンジで30センチ程度は不燃物か粗大ごみか。
- ・ 30センチ以上は大型ごみと言われますが、ごみ袋(450)に入るものだと大型ごみでなくてもいいのではないかと迷います。
- ・ 子どものおもちゃや電子関係のもの。
- ・ 壊れた家電や割れたガラス、その他燃えそうもないものに迷う。
- ・ 農薬、薬品類、土。

問8. プラスチック製容器包装は主にどのように排出していますか。(1つ選択)

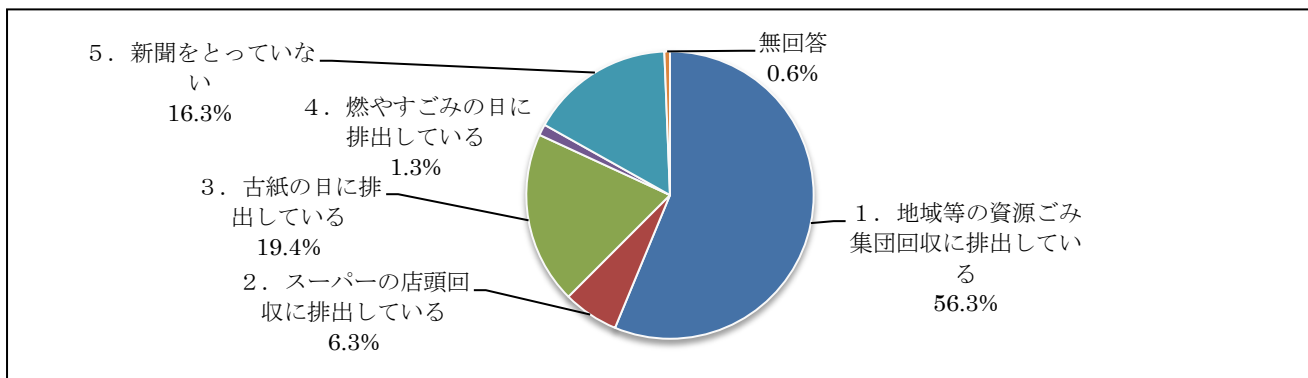
1. 汚れを落としプラスチック製容器包装の日に排出し、スーパーの店頭回収も利用している	55人
2. 汚れを落としプラスチック製容器包装の日に排出している	49人
3. 汚れているものは燃やすごみに排出し、汚れていないものはプラスチック製容器包装の日に排出している	50人
4. 分別せずにプラスチック製容器包装はすべて燃やすごみの日に排出している	6人
合計	160人



「1. 汚れを落としプラスチック製容器包装の日に排出し、スーパーの店頭回収も利用している」(34.4%)、「2. 汚れを落としプラスチック製容器包装の日に排出している」(30.6%)、「3. 汚れているものは燃やすごみに排出し、汚れていないものはプラスチック製容器包装の日に排出している」(31.3%)と答えた方が、それぞれ全体の約三分の一となっています。

問9. 新聞紙は主にどのように排出していますか。(1つ選択)

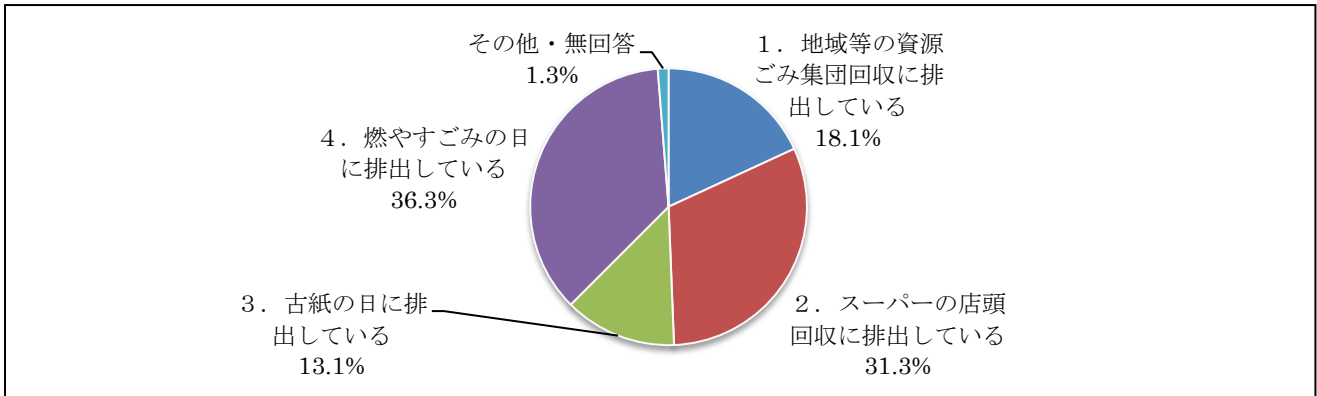
1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している	90人
2. スーパーの店頭回収に排出している	10人
3. 古紙の日に排出している	31人
4. 燃やすごみの日に排出している	2人
5. 新聞をとっていない	26人
無回答	1人
合計	161人



「1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している」(56.3%)と答えた方が最も多く、全体の半数以上を占めています。

問10. 飲料用紙パックは主にどのように排出していますか。(1つ選択)

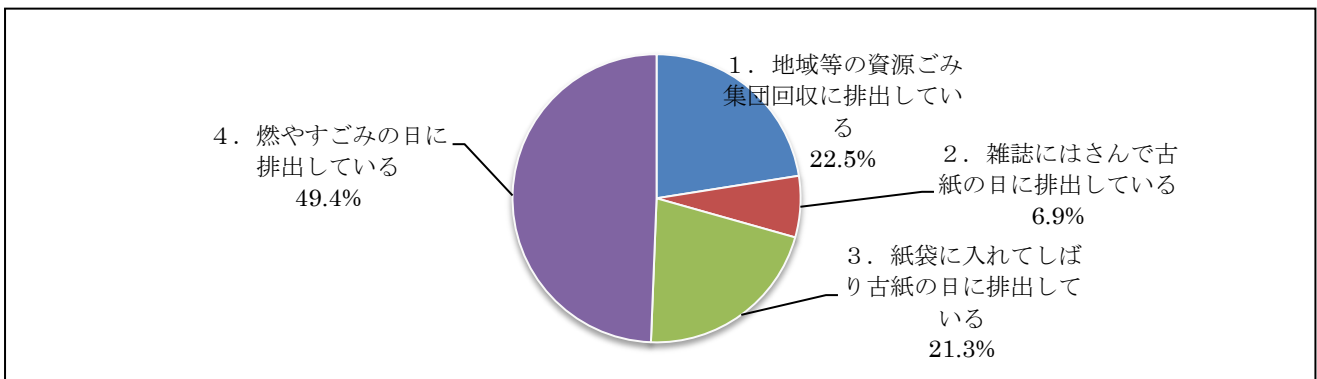
1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している	29人
2. スーパーの店頭回収に排出している	50人
3. 古紙の日に排出している	21人
4. 燃やすごみの日に排出している	58人
その他・無回答	2人
合計	160人



「4. 燃やすごみの日に排出している」(36.3%)と答えた方が最も多く、次いで「2. スーパーの店頭回収に排出している」(31.3%)、「1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している」(18.1%)の順となっています。

問11. 雑がみ(お菓子やティッシュの紙箱、包装紙、紙袋など)は主にどのように排出していますか。(1つ選択)

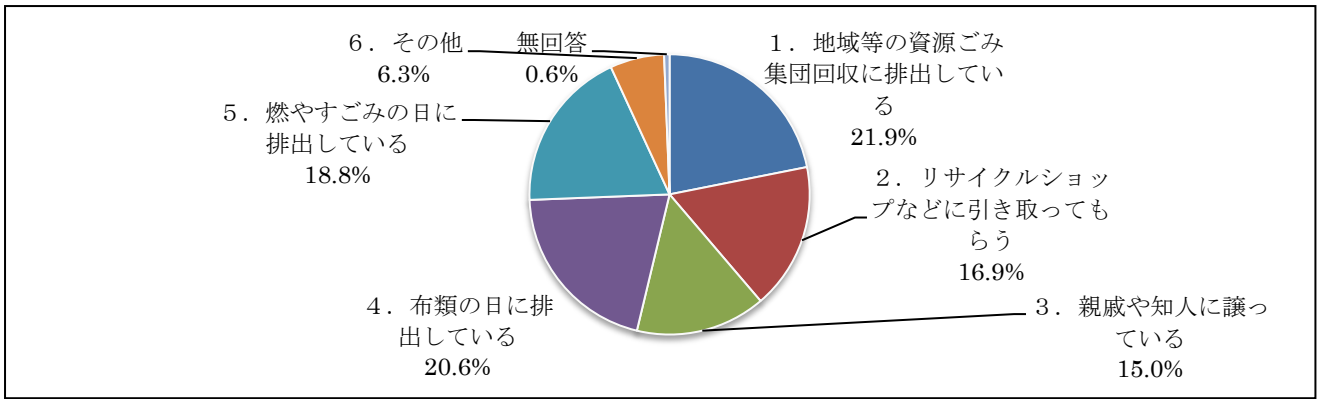
1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している	36人
2. 雑誌にはさんで古紙の日に排出している	11人
3. 紙袋に入れてしぼり古紙の日に排出している	34人
4. 燃やすごみの日に排出している	79人
合計	160人



「4. 燃やすごみの日に排出している」(49.4%)と答えた方が最も多く、全体の約半数を占めています。

問12. 再使用可能な(まだ着ることが出来る)衣類は主にどのように排出していますか。(1つ選択)

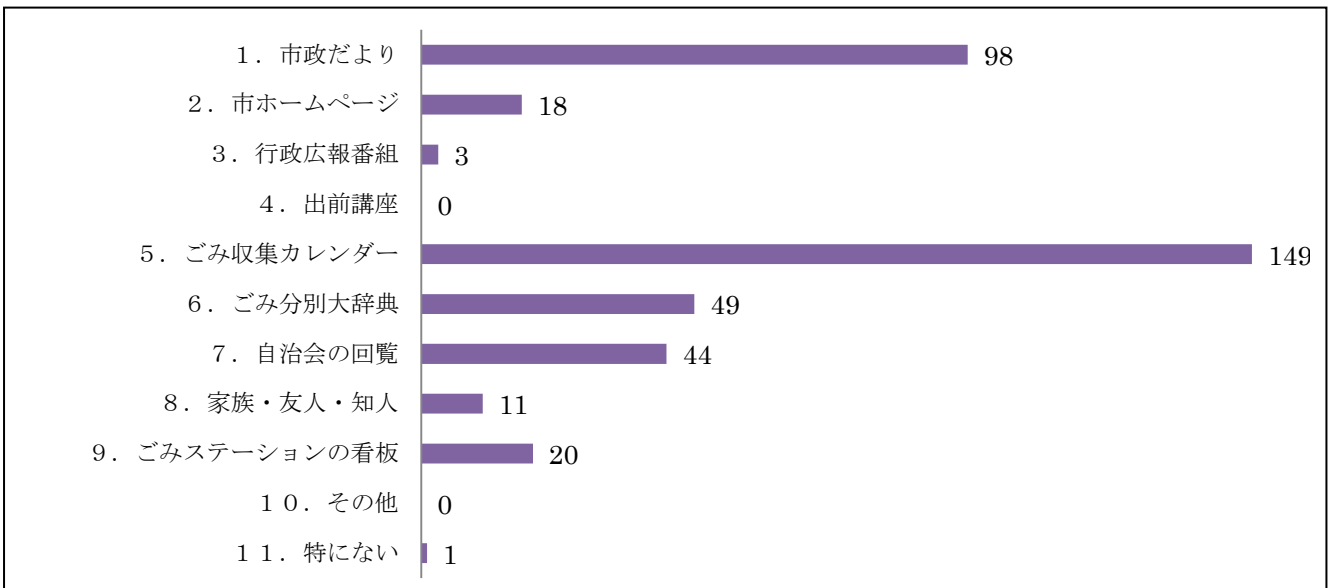
1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している	35人
2. リサイクルショップなどに引き取ってもらう	27人
3. 親戚や知人に譲っている	24人
4. 布類の日に排出している	33人
5. 燃やすごみの日に排出している	30人
6. その他	10人
無回答	1人
合計	160人



「1. 地域等の資源ごみ集団回収に排出している」(21.9%)と答えた方が最も多く、次いで「4. 布類の日に排出している」(20.6%)、「5. 燃やすごみの日に排出している」(18.8%)の順となっています。

問13. 新居浜市のごみに関する情報はどこから得ていますか。(複数選択)

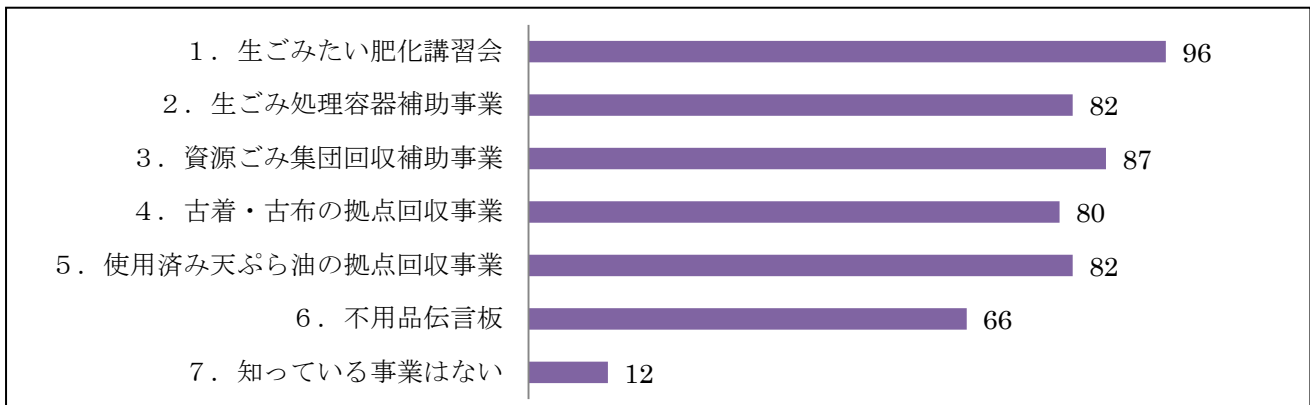
1. 市政だより	98人
2. 市ホームページ	18人
3. 行政広報番組	3人
4. 出前講座	0人
5. ごみ収集カレンダー	149人
6. ごみ分別大辞典	49人
7. 自治会の回覧	44人
8. 家族・友人・知人	11人
9. ごみステーションの看板	20人
10. その他	0人
11. 特にない	1人



「5. ごみ収集カレンダー」(149人)、「1. 市政だより」(98人)が、新居浜市のごみに関する情報の入手先として多く挙げられています。

問14. ごみの減量と3Rの推進のために市が実施している事業について、知っているものを教えてください。(複数選択)

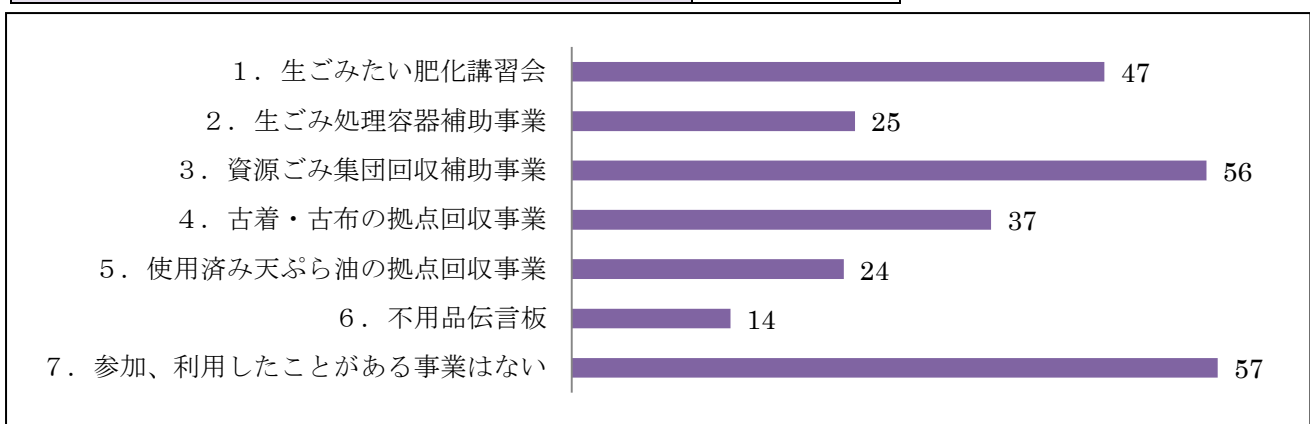
1. 生ごみたい肥化講習会	96人
2. 生ごみ処理容器補助事業	82人
3. 資源ごみ集団回収補助事業	87人
4. 古着・古布の拠点回収事業	80人
5. 使用済み天ぷら油の拠点回収事業	82人
6. 不用品伝言板	66人
7. 知っている事業はない	12人



「1. 生ごみたい肥化講習会」(96人)、「3. 資源ごみ集団回収補助事業」(87人)、「2. 生ごみ処理容器補助事業」(82人)、「5. 使用済み天ぷら油の拠点回収事業」(82人)などが、知っている事業として多く挙げられています。

問15. 問14の市が実施している事業について、参加や利用したことがある事業を教えてください。(複数選択)

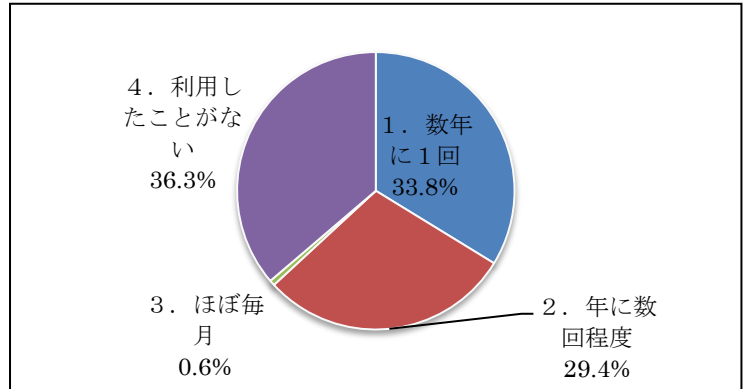
1. 生ごみたい肥化講習会	47人
2. 生ごみ処理容器補助事業	25人
3. 資源ごみ集団回収補助事業	56人
4. 古着・古布の拠点回収事業	37人
5. 使用済み天ぷら油の拠点回収事業	24人
6. 不用品伝言板	14人
7. 参加、利用したことがある事業はない	57人



「7. 参加、利用したことがある事業はない」(57人)と答えた方が最も多くなっています。参加、利用したことがある事業の中では、「3. 資源ごみ集団回収補助事業」(56人)、「1. 生ごみたい肥化講習会」(47人)などが多く挙げられています。

問16. 大型ごみの戸別収集の利用についてお伺いします。利用頻度を教えてください。(1つ選択)

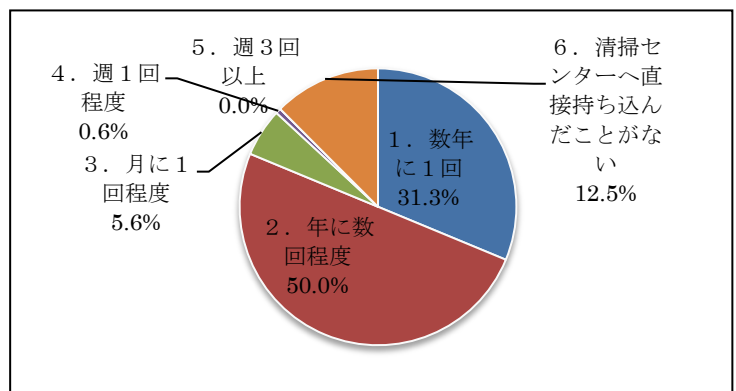
1. 数年に1回	54人
2. 年に数回程度	47人
3. ほぼ毎月	1人
4. 利用したことがない	58人
合計	160人



「4. 利用したことがない」(36.3%)と答えた方が最も多く、利用頻度が「3. ほぼ毎月」(0.6%)と答えた方は全体の1%未満となっています。

問17. 清掃センターの利用についてお伺いします。清掃センターへ家庭ごみを直接持ち込む頻度を教えてください。(1つ選択)

1. 数年に1回	50人
2. 年に数回程度	80人
3. 月に1回程度	9人
4. 週1回程度	1人
5. 週3回以上	0人
6. 清掃センターへ直接持ち込んだことがない	20人
合計	160人

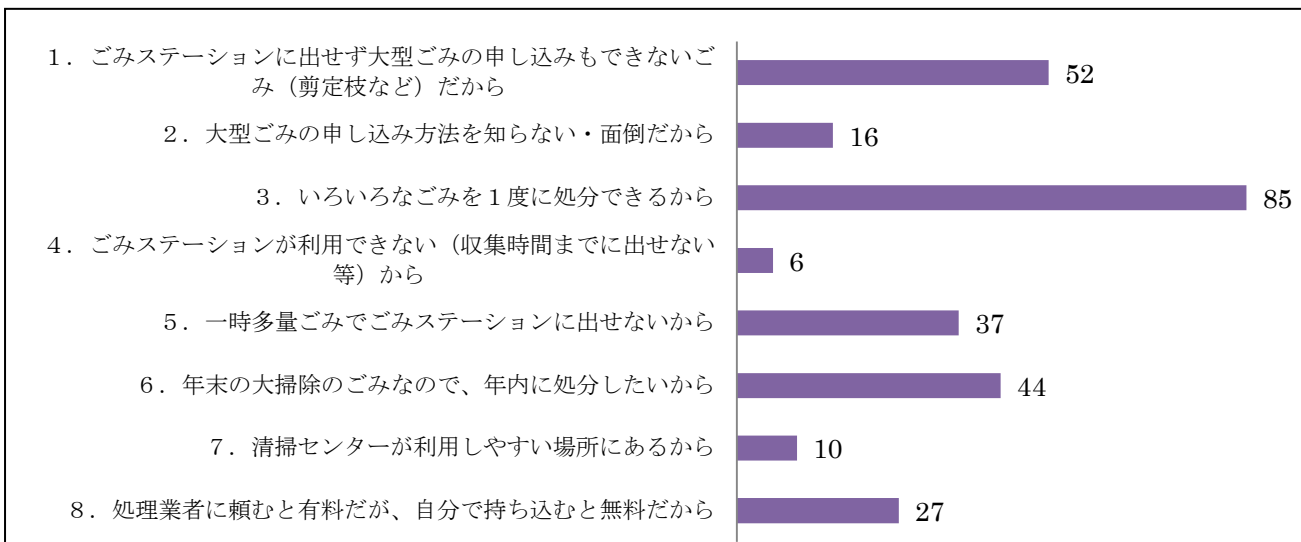


「2. 年に数回程度」(50.0%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 数年に1回」(31.3%)、「6. 清掃センターへ直接持ち込んだことがない」(12.5%)の順となっています。

問18. 問17で「1」から「5」までの項目を選択した方にお伺いします。清掃センターへ家庭ごみを直接持ち込んだ理由を教えてください。(複数選択)

1. ごみステーションに出せず大型ごみの申し込みもできないごみ(剪定枝など)だから	52人
2. 大型ごみの申し込み方法を知らない・面倒だから	16人
3. いろいろなごみを1度に処分できるから	85人
4. ごみステーションが利用できない(収集時間までに出せない等)から	6人
5. 一時多量ごみでごみステーションに出せないから	37人
6. 年末の大掃除のごみなので、年内に処分したいから	44人

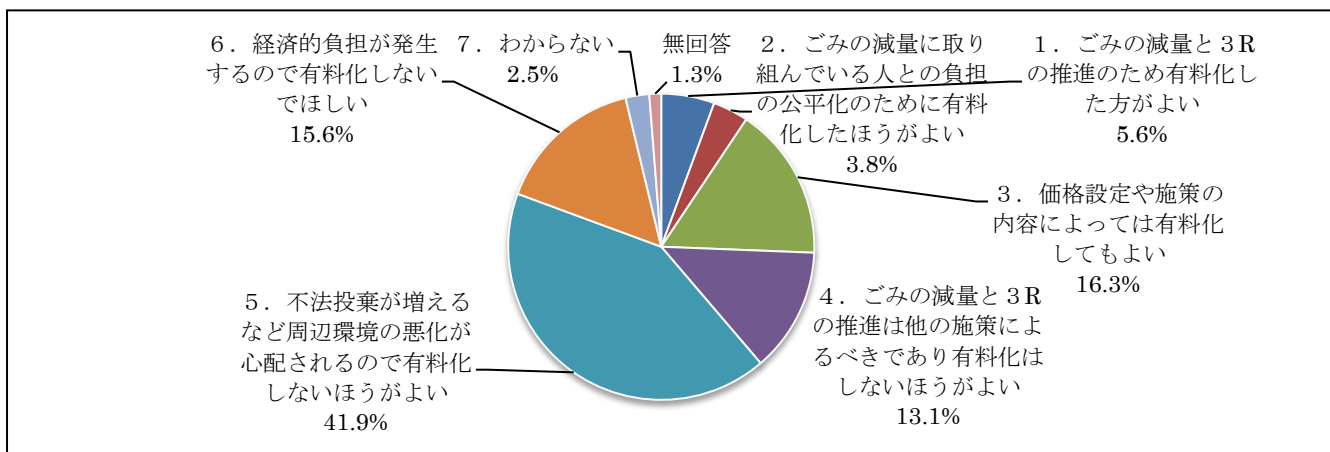
7. 清掃センターが利用しやすい場所にあるから	10人
8. 処理業者に頼むと有料だが、自分で持ち込むと無料だから	27人



「3. いろいろなごみを1度に処分できるから」（85人）、「1. ごみステーションに出せず大型ごみの申し込みもできないごみ（剪定枝など）だから」（52人）、「6. 年末の大掃除のごみなので、年内に処分したいから」（44人）などが、清掃センターへ直接持ち込んだ理由として多く挙げられています。

問19. 愛媛県内11市では、新居浜市だけが家庭ごみの収集・処分はすべて無料（市民から手数料を徴収していない）です。家庭ごみの有料化はごみの減量と3Rの推進に効果があるといわれますが、有料化についてどう思いますか。（1つ選択）

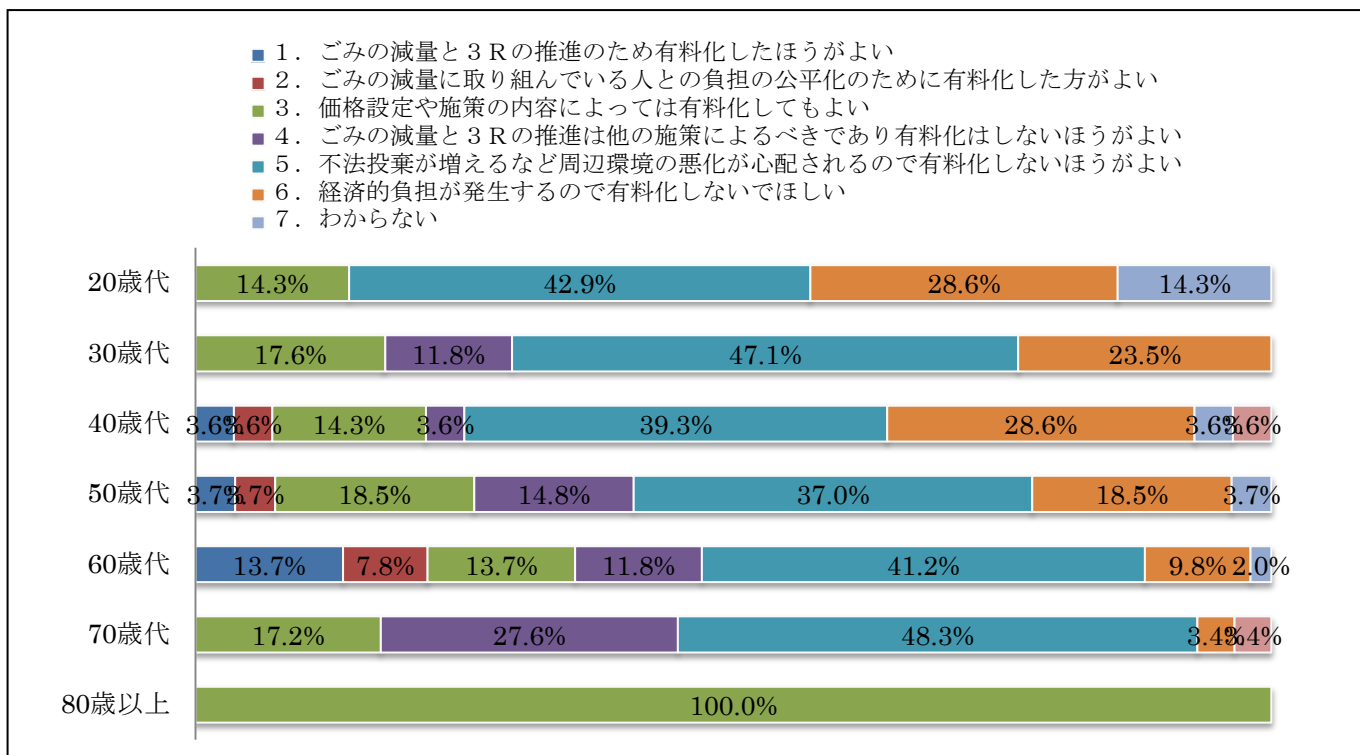
1. ごみの減量と3Rの推進のため有料化したほうがよい	9人
2. ごみの減量に取り組んでいる人との負担の公平化のために有料化したほうがよい	6人
3. 価格設定や施策に内容によっては有料化してもよい	26人
4. ごみの減量と3Rの推進は他の施策によるべきであり有料化はしないほうがよい	21人
5. 不法投棄が増えるなど周辺環境の悪化が心配されるので有料化しないほうがよい	67人
6. 経済的負担が発生するので有料化しないほしい	25人
7. わからない	4人
無回答	2人
合計	160人



「5. 不法投棄が増えるなど周辺環境の悪化が心配されるので有料化しないほうがよい」(41.9%)と答えた方が最も多く、「4. ごみの減量と3Rの推進は他の施策によるべきであり有料化はしないほうがよい」(13.1%)、「6. 経済的負担が発生するので有料化しないでほしい」(15.6%)を合わせて、全体の7割以上の方が家庭ごみの有料化はしないほうがよいと考えていることがわかりました。

【クロス集計（年代別）】

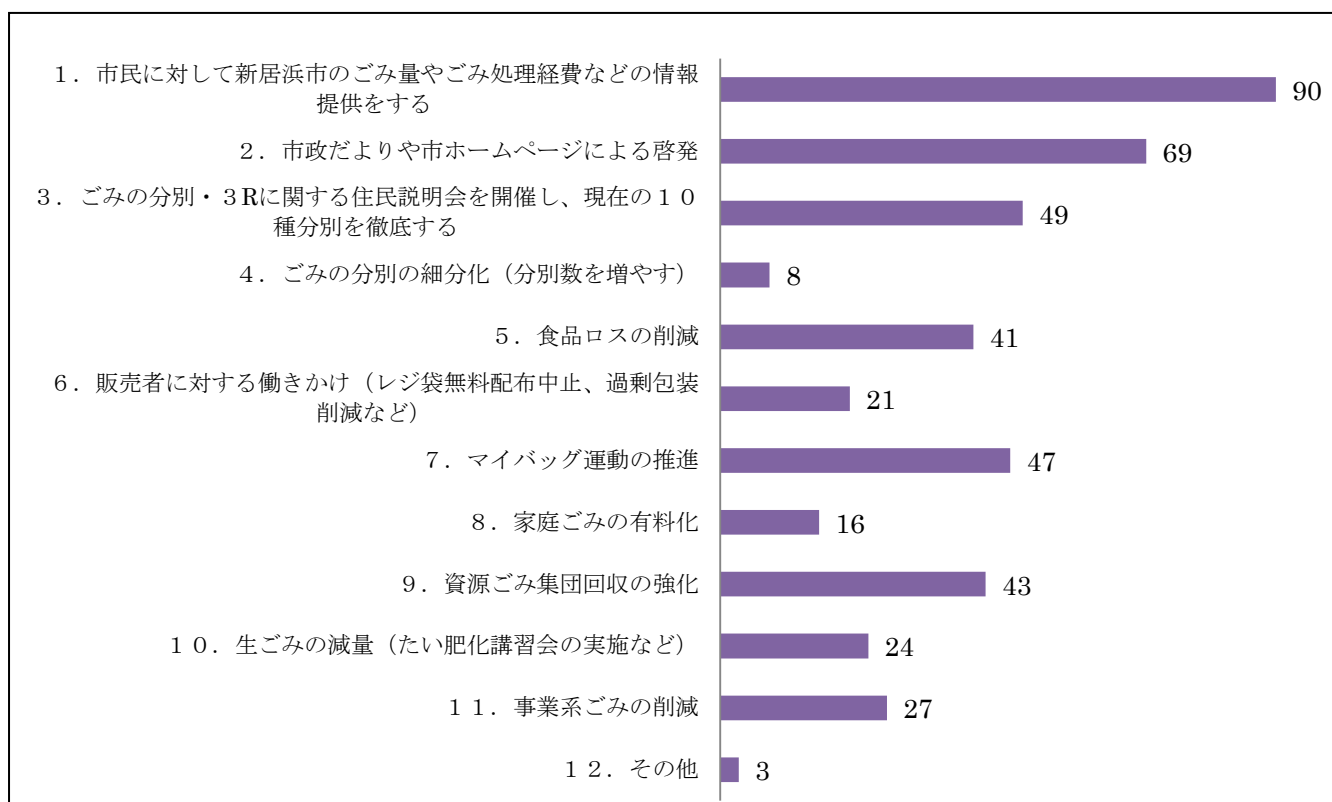
	1. ごみの減量と3Rの推進のため有料化したほうがよい	2. ごみの減量に取り組んでいる人との負担の公平化のために有料化した方がよい	3. 価格設定や施策の内容によっては有料化してもよい	4. ごみの減量と3Rの推進は他の施策によるべきふえあり有料化はしないほうがよい	5. 不法投棄が増えるなど周辺環境の悪化が心配されるので有料化しないほうがよい	6. 経済的負担が発生するので有料化しないでほしい	7. わからない	無回答	合計
20歳代	0人	0人	1人	0人	3人	2人	1人	0人	7人
30歳代	0人	0人	3人	2人	8人	4人	0人	0人	17人
40歳代	1人	1人	4人	1人	11人	8人	1人	1人	28人
50歳代	1人	1人	5人	4人	10人	5人	1人	0人	27人
60歳代	7人	4人	7人	6人	21人	5人	1人	0人	51人
70歳代	0人	0人	5人	8人	14人	1人	0人	1人	29人
80歳以上	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	9人	6人	26人	21人	67人	25人	4人	2人	160人



問20. ごみの減量と3Rの推進にどのような取り組みが必要だと思われますか。(3つまで選択)

1. 市民に対して新居浜市のごみ量やごみ処理経費などの情報提供をする	90人
2. 市政だよりや市ホームページによる啓発	69人

3. ごみの分別・3Rに関する住民説明会を開催し、現在の10種分別を徹底する	49人
4. ごみの分別の細分化（分別数を増やす）	8人
5. 食品ロスの削減	41人
6. 販売者に対する働きかけ（レジ袋無料配布中止、過剰包装削減など）	21人
7. マイバッグ運動の推進	47人
8. 家庭ごみの有料化	16人
9. 資源ごみ集団回収の強化	43人
10. 生ごみの減量（たい肥化講習会の実施など）	24人
11. 事業系ごみの削減	27人
12. その他	3人



「1. 市民に対して新居浜市のごみ量やごみ処理経費などの情報提供をする」(90人)、「2. 市政だよりや市ホームページによる啓発」(69人)、「3. ごみの分別・3Rに関する住民説明会を開催し、現在の10種分別を徹底する」(49人)、「7. マイバッグ運動の推進」(47人)などが、必要な取り組みとして多く挙げられています。

問21. 新居浜市のごみ減量と3Rの推進について、ご意見があれば自由にご記入ください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・リサイクルに関し、どのようにしているか、またどんなものにリサイクルされているか等をもっと詳しく情報提供してほしい。
- ・3Rは認知度が低いと思うので、ホームページや市政だより、その他イベント、広報誌などで取り上げてください。
- ・他市に比べて新居浜市はまだまだ取り組みが甘い。分別の細分化を今より進めてほしい。また、リサイクル活動をもっと進めて、指導してください。そのための補助金支出はやむを得ないと思う。
- ・地球温暖化防止のためにもごみの減量化はとても大切なことです。新居浜市は他市に比べてきちんと取り組んでいるので素晴らしいと思います。私の周りでは、分別が面倒だからと言って古紙をちぎって可燃ごみに出したり、プラスチックも分別せず可燃ごみに出している人もいます。自分一人くらい、という気持ちが強いようです。ごみの分別を徹底したり、マイバッグを持参するなど、一人ひとりがもっとごみの減量に気をつけるよう市政だより等を通じて啓発しては。ペットボトルのキャップの資源回収もあればいいと思います。
- ・市内の何か所かに、ペットボトル回収機などの分別ステーションを設置してほしい。
- ・使用済み天ぷら油の拠点回収場所をスーパーなど市役所以外にも増やしてほしい。
- ・新居浜市のごみ量やごみ処理経費などの現状を説明し、住民に理解してもらう必要がある。
- ・ごみの減量に対する処置として、第一に有料化にしたらいいと思う。有料化が難しい場合には、市民一斉清掃の時に使用しているごみ袋を半分位に小さくして名前が書けるように各自治会で配布できるようにしてはどうかと思う。
- ・家庭ごみの有料化はできるだけ避けてほしい。有料化を実施していないのは新居浜市だけ、ということアピールして(私は知りませんでした)、市民に有り難さと危機感を持たせると良いのではと思います。
- ・有料化は絶対反対。不法投棄が増えるのが目に見えている。
- ・ごみの有料化は許してほしい。現在色々なものが値上げし続けていて本当にやりくりに困っています。
- ・有料化より、リサイクルするとメリットがあるようにすれば皆さん意識するのではないのでしょうか？昔、自動空き缶回収ボックスで図書カードをくれるというような話題があったように思います。トレイやペットボトルが毎日の生活で多いのでは、とよく思います。
- ・リサイクルできるものはみんなするのが良い。リユースショップを利用するのもいいが、自治会で1～2か月に1回程度使えそうなリサイクル品を集めてフリーマーケットのようなものをするのもよい。不用品は買わない、捨てないことを街ぐるみで！
- ・以前、ベビー用品のリサイクル(チャイルドシート、ベビーカーなど)を市役所で見かけていいなと思っていました。またあればやってほしいです。マイバッグは大分広まっていると思います。
- ・企業等の期限切れ商品ゼロ推進、家庭での完食習慣をつける。
- ・川などへの不法投棄を取り締まるか、以前のように川の清掃を市でやってほしい。
- ・分別しない人やごみ減量に積極的でない人はどれだけ注意しても直そうとしない。例えば、ビンなどの資源ごみは返金やポイント制にするなどの楽しい特典があれば少しは改善するかもしれない。
- ・公平、公正化のため、市民一人当たりのごみの上限を決めて制限し、一定量を超えた量・物は自己負担をお願いしてはどうか。指定の袋や排出量の記録申請をして管理を強化、管理の費用をかけないポイントチェック管理をすればどうでしょうか。やった者が勝つ、正直者が馬鹿を見るでは駄目です。
- ・他市の取り組みを参考に、有料化に伴う自治会加入率の向上を図る。
- ・カラス対策、自治会未加入者対策が大きな課題と思います。
- ・ごみ処理側の論理でなく、捨てる側の論理でもう少し考えてもらうとスムーズになる面もあると思う。不燃ごみの取り扱いサイズの見直し(傘、電線ケーブル等)をお願いしたい。

- ・四国中央市みたいにもう少しごみの分別がわかりやすい方がいいです。
- ・福岡市は個別回収をしているのをテレビで見た。夜に回収して地域の防犯にも貢献しているそうです。見習ってはどうか。
- ・高齢者がごみの分別があまり理解できていないようで、一人暮らしの方に個別収集してもらえるのはとても良いことだと思います。これからも啓発活動は若い人も必要だと思います。ジュースのペットボトルを洗ってからごみにする高校生を見ていると、新居浜市の取り組みに「成功していますよ」と言いたい。
- ・子どもや年配の方にもわかりやすい、大きいごみカレンダーを作成してほしい。
- ・難しい問題で、ごみ減量に対する一人ひとりの意識がないと、啓発や講習会をしても不参加や関心の無さで、減量につながらない。いかに無駄なごみと税金が使われているかを知ることが大切です。

<まとめ>

「ごみの減量と3Rの推進」は、限りある資源やエネルギーの節約、地球温暖化などの環境への負担の低減のため、一人一人が取り組む必要があります。今回のアンケートは新居浜市のごみ減量と3Rの推進施策がどのくらい市民の方に理解され、取り組んでいただいているのかを把握し、今後のごみ減量施策の参考資料とするため実施しました。

調査結果として、ごみの減量と3Rの推進について9割以上の方が「関心がある」と答えており、年代が高いほど「大いに関心がある」と答えた方が多くなっています。具体的な取り組みでは、「マイバックの持参」や「ごみの分別」が多く、大手スーパーでの「レジ袋の無料配布中止」やごみカレンダー等による分別啓発が、多くの市民に理解されていると考えられます。しかし、古紙としてリサイクルできる飲料用紙パックや雑紙を燃やすごみの日に出している方が多くなっており、まだまだ分別の徹底ができていません。また、市が実施している事業への参加、利用を「したことがない」と答えた方が一番多くなっています。次に、ごみの減量と3Rの推進に必要な市の取り組みとして、「情報提供」「指導・啓発」が多く挙げられており、有料化については7割以上の方が「しない方がよい」と考えていることがわかりました。

回答された方は「ごみの減量と3Rの推進」に関心も高く、市が実施している事業について知っているにもかかわらず、参加や利用したことがない方が多くなっていることから、啓発の方法を工夫し、たくさんの市民の方に参加や利用していただける施策を、今回頂いたご意見を参考にしながら考えてまいります。

(担当課：ごみ減量課)



テーマ⑤ 新居浜市の認知症施策の周知度調査

【調査趣旨】

新居浜市では、認知症になっても安心して生活が続けられる社会づくりとして、認知症サポーター養成講座、認知症のSOSネットワークなど各種認知症対策に取り組んでおります。今年度は第7期介護保険計画策定のために、高齢者を対象として全国的に生活圏域ニーズ調査が実施されました。

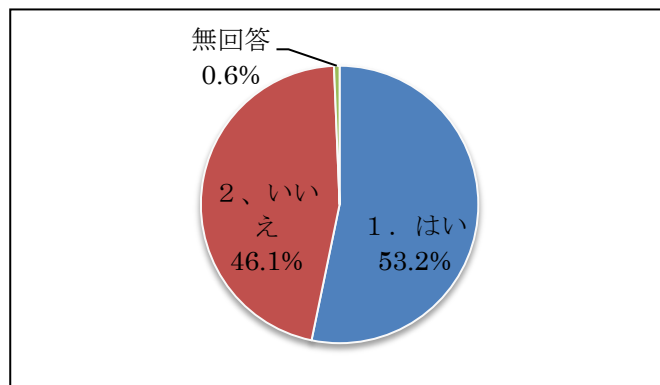
今回のアンケートでは、新居浜市全体としての支援を広げていくため、市民の皆さんに認知症施策の周知がどの程度広まっているかを調査し、今後の啓発のあり方検討の参考としたいと考えています。

(担当課：地域包括支援センター)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 認知症に関して困ったり心配になったりした時の相談先を知っていますか。(1つ選択)

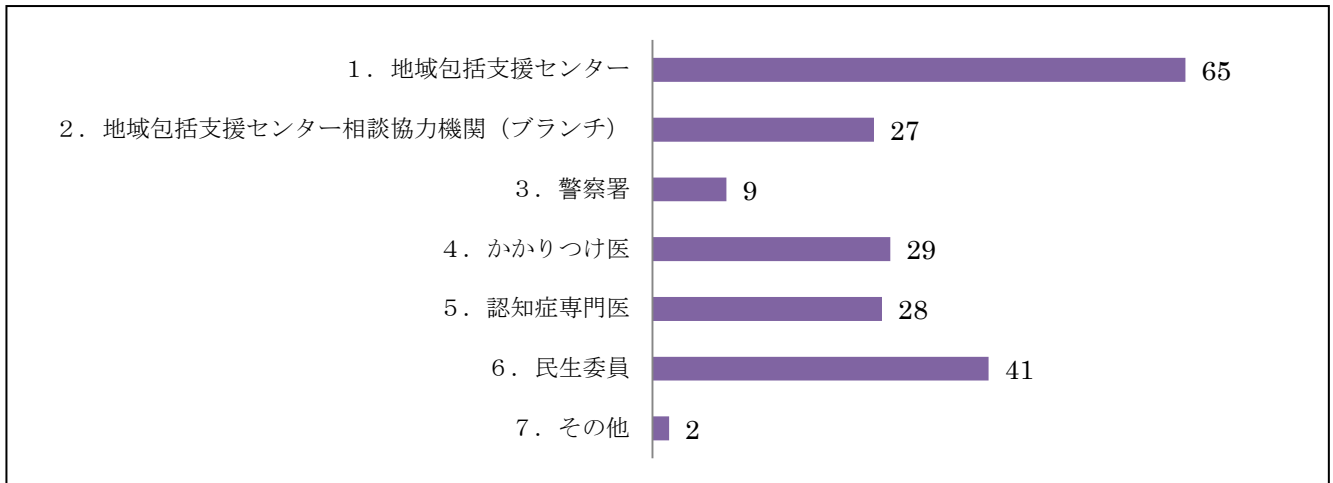
1. はい	82人
2. いいえ	71人
無回答	1人
合計	154人



「1. はい」(53.2%)と答えた方が、「2. いいえ」(46.1%)よりやや多くなっています。

問3. 問2で「1. はい」と答えた方は、知っている具体的な相談先を選んでください。(複数選択)

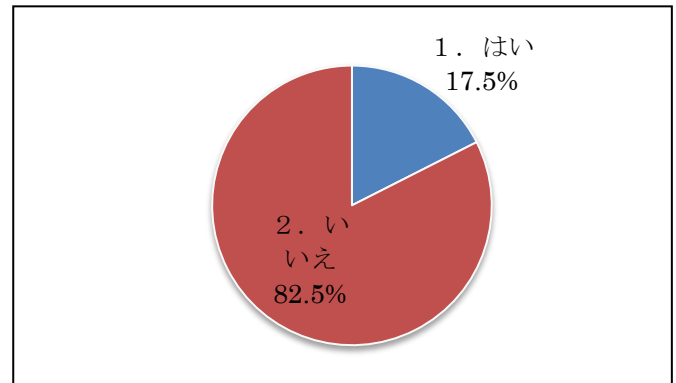
1. 地域包括支援センター	65人
2. 地域包括支援センター相談協力機関(ブランチ)	27人
3. 警察署	9人
4. かかりつけ医	29人
5. 認知症専門医	28人
6. 民生委員	41人
7. その他	2人



「1. 地域包括支援センター」(65人)、「6. 民生委員」(41人)などが、知っている認知症に関する具体的な相談先として多く挙げられています。

問4. 認知症サポーター養成講座を受講したことがありますか。(1つ選択)

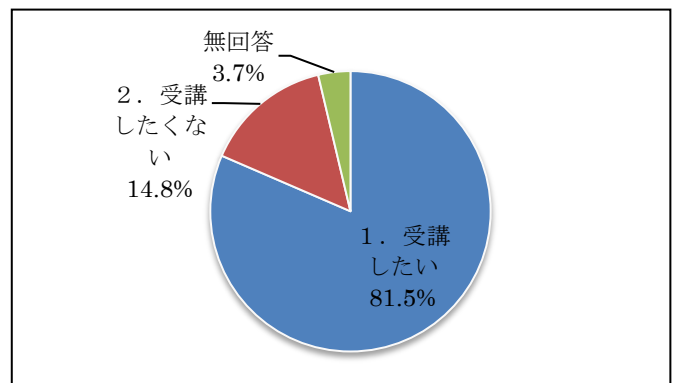
1. はい	27人
2. いいえ	127人
合計	154人



「2. いいえ」(82.5%)と答えた方が全体の8割以上を占めています。

問5. 問4で「1. はい」と答えた方に伺います。認知症サポーター養成講座のステップアップ講座があれば受講したいですか。(1つ選択)

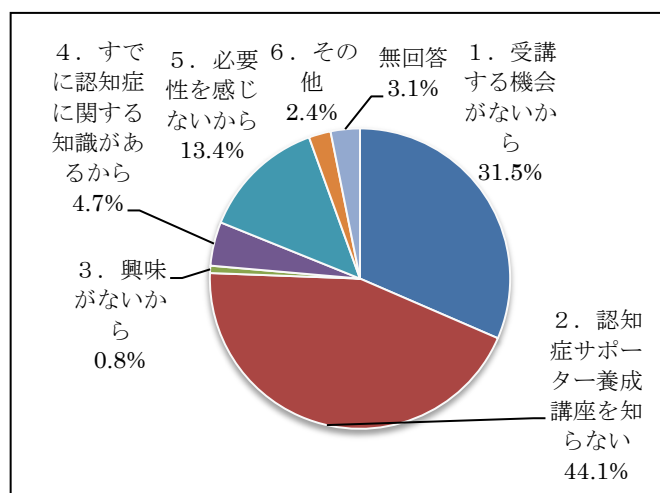
1. 受講したい	22人
2. 受講したくない	4人
無回答	1人
合計	27人



認知症サポーター養成講座を受講したことがある方の8割以上が、ステップアップ講座があれば「1. 受講したい」(81.5%)と回答しています。

問6. 問4で「2. いいえ」と答えた方に伺います。認知症サポーター養成講座を受講していない理由を教えてください。(1つ選択)

1. 受講する機会がないから	40人
2. 認知症サポーター養成講座を知らない	56人
3. 興味がないから	1人
4. すでに認知症に関する知識があるから	6人
5. 必要性を感じないから	17人
6. その他	3人
無回答	4人
合計	127人



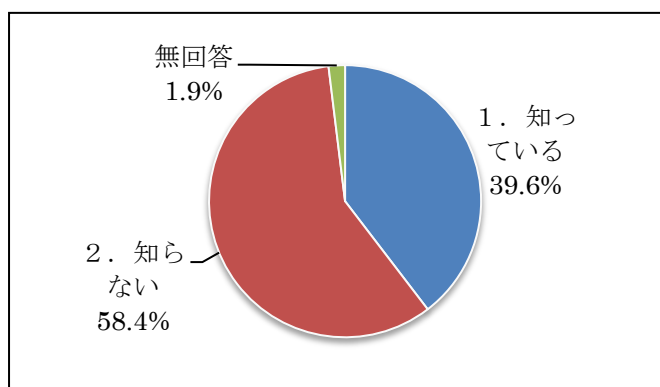
「2. 認知症サポーター養成講座を知らない」(44.1%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 受講する機会がないから」(31.5%)、「5. 必要性を感じないから」(13.4%)の順となっています。

問7. 問6で「6. その他」と答えた方に伺います。認知症サポーター養成講座を受講していない理由を教えてください。

- ・ どんなことをするか。日程、場所を知らない。
- ・ 他の仕事が多いため
- ・ 他の講習会で勉強しているから

問8. 認知症による徘徊等で行方不明者が発生した時の対応方法を知っていますか。(1つ選択)

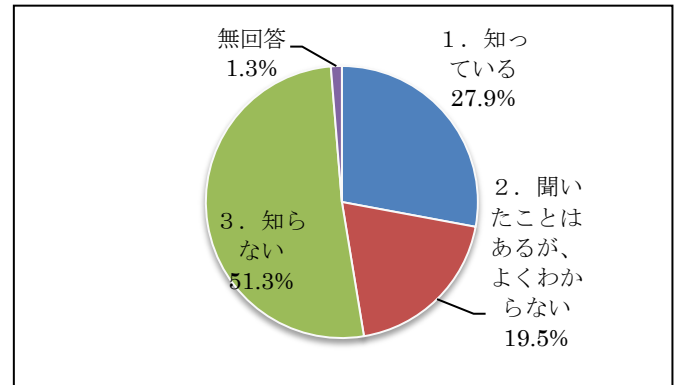
1. 知っている	61人
2. 知らない	90人
無回答	3人
合計	154人



「2. 知らない」(58.4%)と答えた方が「1. 知っている」(39.6%)より多くなっています。

問9. 「認知症高齢者見守りSOSネットワーク」を知っていますか。(1つ選択)

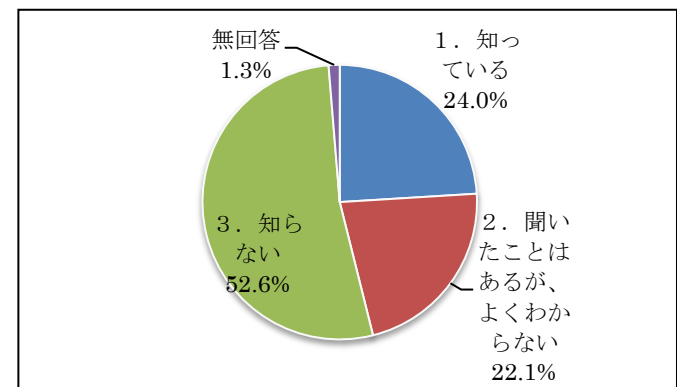
1. 知っている	43 人
2. 聞いたことはあるが、よくわからない	30 人
3. 知らない	79 人
無回答	2 人
合計	154 人



「3. 知らない」(51.3%)と答えた方が、全体の半数以上を占めています。

問 10. 認知症行方不明者情報が配信される「メールマガジン」や「新居浜いんふお（スマートフォンアプリ）」を知っていますか。(1つ選択)

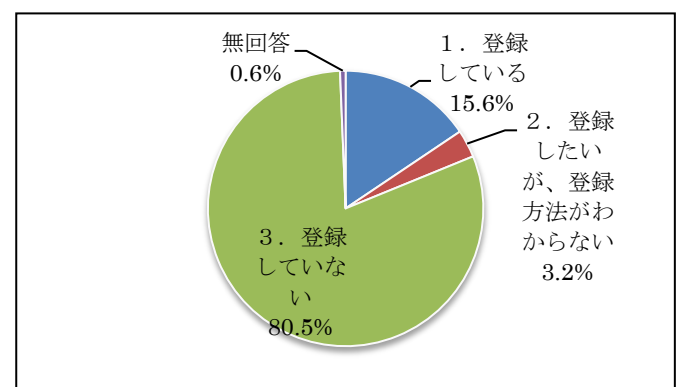
1. 知っている	37 人
2. 聞いたことはあるが、よくわからない	34 人
3. 知らない	81 人
無回答	2 人
合計	154 人



「3. 知らない」(52.6%)と答えた方が、全体の半数以上を占めています。

問 11. 認知症行方不明者情報が配信されるメールマガジンもしくは、新居浜いんふおに登録していますか。(1つ選択)

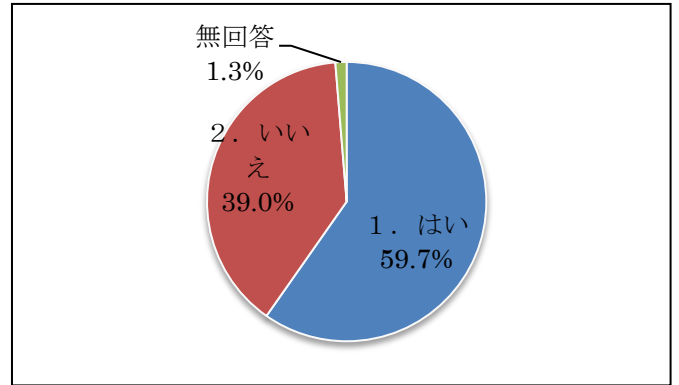
1. 登録している	24 人
2. 登録したいが、登録方法がわからない	5 人
3. 登録していない	124 人
無回答	1 人
合計	154 人



「3. 登録していない」(80.5%)と答えた方が、全体の8割以上を占めています。

問 12. これまでに認知症行方不明者情報を行政放送で聞いたり、メールマガジンや新居浜いんふおの配信を受けたりした時、行方不明者が近くにいないか注意を払いましたか。(1つ選択)

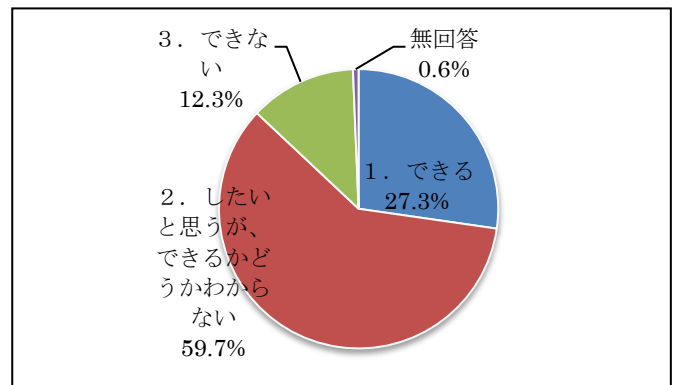
1. はい	92 人
2. いいえ	60 人
無回答	2 人
合計	154 人



「1. はい」(59.7%)と答えた方が「2. いいえ」(39.0%)より多くなっています。

問13. まちで認知症と思われる人を見かけたとき、声かけができますか。(1つ選択)

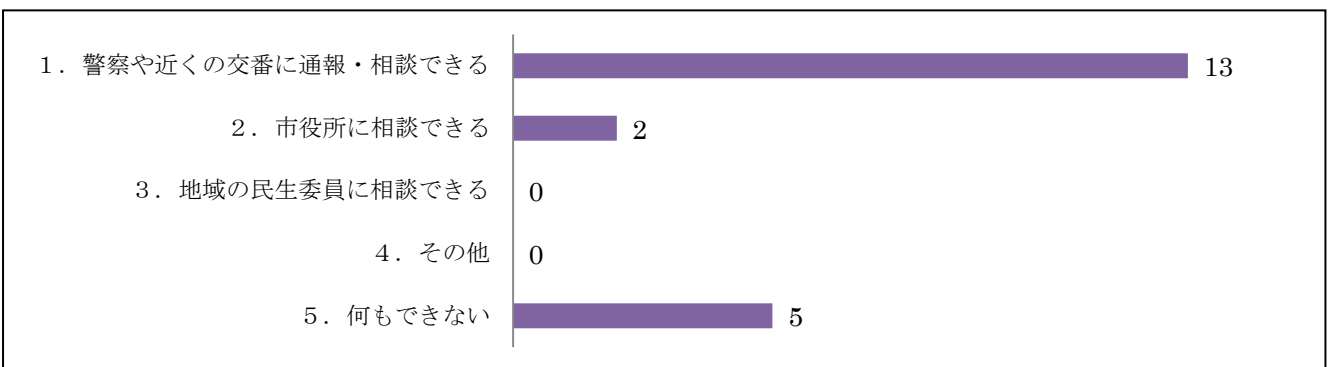
1. できる	42 人
2. したいと思うが、できるかどうか わからない	92 人
3. できない	19 人
無回答	1 人
合計	154 人



「2. したいと思うが、できるかどうかわからない」(59.7%)と答えた方が最も多く、次いで「1. できる」(27.3%)、「3. できない」(12.3%)の順となっています。

問14. 問13で「3. できない」と答えた方は、声かけ以外のことでできることはありますか。(複数選択)

1. 警察や近くの交番に通報・相談できる	13 人
2. 市役所に相談できる	2 人
3. 地域の民生委員に相談できる	0 人
4. その他	0 人
5. 何もできない	5 人



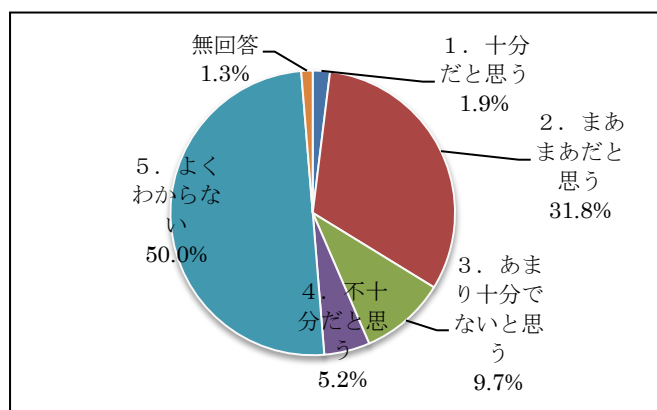
問13で声かけを「3. できない」と答えた方は全体の12.3%ですが、声かけ以外のことでできることとしては「1. 警察や近くの交番に通報・相談できる」(13人)が多く挙げられています。

問15. 問14で「4. その他」を選んだ方に伺います。問14の選択肢1～3以外で、できることを教えてください。

※「4. その他」選択者なし

問16. 現在、新居浜市の認知症施策は十分だと思いますか。(1つ選択)

1. 十分だと思う	3人
2. まあまあだと思う	49人
3. あまり十分でないと思う	15人
4. 不十分だと思う	8人
5. よくわからない	77人
無回答	2人
合計	154人



「5. よくわからない」(50.0%)と答えた方が最も多く、全体の半数を占めています。

問17. 問16で「3. あまり十分でないと思う」「4. 不十分だと思う」と答えた方に伺います。具体的に、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・学校、職場、自治会での啓蒙活動を継続的に行い、市内全体で見守ることができる体制を構築する必要がある。
- ・SOSネットワークをもっと広げるとともに、行政が主体的に関わるようにする。
- ・SOSネットワークも、最終の処理は警察まかせでは意味がないのでは。
- ・(行方不明者を) 見つけた場合の判断の仕方と対処方法を身に付けさせること。
- ・子どもたちへの啓発はなされているようですが、SNSの活用等はまだまだだと思います。
- ・知っている人がいるとは思えない。関心を持てる施策が必要。
- ・全く何も知らなかったし、若い人には「自分には関係ない」などと思ってしまうかもしれません。ライン、ツイッターなどを利用するのはどうでしょうか。メールマガジンはあまり読む気にならないのと、瞬間性に欠ける気がします。
- ・市からの放送では、性別、年齢、身長、服装等は放送されますが、氏名や詳しい住所等は知らされません。個人情報が必要なことは十分承知していますが、「どこそこのおばあちゃん、あそこで見かけたよ」等の情報が得られる場合もあるのでは、と皆でよく話し合っています。
- ・相談できる人と、施設があるといいと思います。
- ・具体的に体験したわけではないのですが、認知症施設に入りにくいと聞きます。施設に入るのにお金がたくさん要するという事も聞きます。
- ・認知症の検査をどこで受診すればよいか、自治会や市政だよりで知らせるべき。
- ・家族会の結成、活動への支援など介護している家族へのフォロー。

問18. 認知症施策に関するご意見があれば、自由に記入してください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・自分や家族が認知症にならない保証はなく、他人事ではない。高齢化の進展で、今後ますます大きな社会問題となる。徘徊等に限らず、該当家族への支援策のさらなる充実が必要になると思う。
- ・少子高齢化社会は急速に進んでいます。行政として、もっときめ細かい対策を立ててください。
- ・私の地域の自治会もあと10年もすれば若い人がほとんどいなくなる。今から自治会で協力し合って対策を考えなければいけない。
- ・校区で認知症に関する取組みをしているところが、最近徐々にではあるができています。市全体でもっと取り組んでいかないといけないと思います。
- ・自治会の活動を活発にして、まずは認知症の予防に努めること。PPK（ぴんぴんキラリ）体操などをうまく活用する。知らない人をなくす対策をするとよい。
- ・地域の人の方の多数の目が必要だと思う。
- ・個人情報にとらわれず、オープンにして皆で見守ってあげたい。
- ・認知症行方不明者情報のメールは知らなかった。もう少しアピールが必要だと思いました。
- ・相談先も含め、広報活動を継続的に行う必要がある。
- ・認知症施策の周知ができていないと思います。
- ・若い世代は良く知らない人も多いので、SNSやテレビなどでも情報を得られるようにしてほしい。
- ・認知症と思われる方を見かけた場合どのようにすべきか？どうすれば一番良い方法が得られるかわかりにくいので、広報等で紹介してほしい。
- ・皆がスマートフォンを所有しているとは限らないので、知らない・わからない情報も多いと思われます。子どもや年配の方を含め、色々な事件や事故もあるので知らない方が近くを徘徊していても声かけをするのは勇気がいると思う。実際に自身で何ができるのか、考える機会ができました。今後の啓発に期待したいと思います。
- ・私の祖母も認知症でしたが、実際に見た人、介護した人しかその辛さ、大変さはわからないので、実際の現場の方の声を聞き、本当に何が必要かを知ってほしい。助けが必要な時、気軽に助けを求める勇気を持っている人はほとんどいない気がします。
- ・個人的な困りごとを公にして、助けを求めるまでになる前に、気軽に相談できる場所があると良いのではないのでしょうか。ケアマネージャーさんのスキルを持った方々が対応してくれる相談窓口を。
- ・なるべく認知症にならないよう、健康講座に参加する。
- ・セミナー等を受講できるように、場所・日時を考えてほしい。
- ・施設を増設し、利用階層の緩和を進めてほしい。
- ・家族と離れて暮らす高齢者を、地域で見守るネットワークがあると安心。
- ・自分は認知症にならないと考える人が多いので、関心が低いのではないのでしょうか。
- ・今回のアンケートでようやく認知症施策があることを知りました。身近に関わりのない内容なので深く考えたことはなかったのですが、いつかの時のためにもう少しきちんと考えたいと思います。

<まとめ>

今回のアンケートは、認知症施策の周知度を確認し、今後の認知症施策の在り方や周知啓発方法の検討に役立てるために実施しました。

認知症に関する相談先については、何らかの相談先があることは半数の人が知っていました。今後もっと増えていくよう、広報・啓発に努めてまいります。知っている相談機関としては、地域包括支援センターが最も多いことがわかりました。次に民生委員が多く、高齢化に伴い地域での助け合いが必要になっていく中で、民生委員への相談は増えていくことが予想されます。今後も民生委員との連携を大切に、気軽に相談していただけるよう、対応してまいります。

一方、地域包括支援センターの相談協力機関であるランチの認知度は低いことがわかりました。各校区単位で、相談できる専門職がいるということの周知が不十分であり、周知方法の検討や工夫が必要だといえます。

認知症サポーター養成講座（以下、講座）については、出前講座として実施しており、平成29年9月末現在で市内の受講者は延べ12,062人となり、受講者数が市人口の9.97%となったところです。今回のアンケートでは、受講したことがある人が17.5%と市の平均よりも高い結果となっていました。

講座を受講していない理由としては、「受講する機会がないから」と「講座を知らない」と回答した人が多いことから、更に周知していくことが必要だといえます。現在は、ホームページや市政だよりで広報していますが、広い世代の人の目に触れるよう、それ以外の周知方法も検討していく必要があります。ステップアップ講座については、8割以上の人が「あれば受講したい」と回答していることがわかり、開催に向けて前向きに検討していきます。

認知症高齢者見守り SOS ネットワークについては、「知っている」が27.9%、「聞いたことはあるがよくわからない」が19.5%という結果であり、徐々に広まってきている段階ではないかと考えられます。年代によって情報源となるツールに違いがあることや、認知症に対する関心の在り方に違いがあるため、年代に応じた周知啓発方法が求められています。

また、行方不明者の情報を聞いたときには注意を払っているという人が約6割となっていることや、「認知症と思われる人を見かけた時、声をかける」ということについて、難易度が高いにもかかわらず「できる」と答えた人が約3割となっていることから、助け合いや見守りの精神が根付いてきているのではないかと思います。この地域の力を活かせるよう、今後も引き続き各事業の周知啓発、見守り協力機関の登録促進等を行い、ネットワークの構築に努めてまいります。

(担当課：地域包括支援センター)



テーマ⑥ 新居浜市の観光振興について

【調査趣旨】

新居浜市では、本市が有する観光資源の魅力や課題を洗い出し、本市における観光のテーマや今後の方向性、目指すべき将来像を定める「新居浜市観光振興計画」を策定することとしています。

人口減少、超高齢化社会が急速に進行するなか、観光振興による交流人口の拡大は、地域経済の活性化や地方創生を図るうえでは重要な施策となってきます。

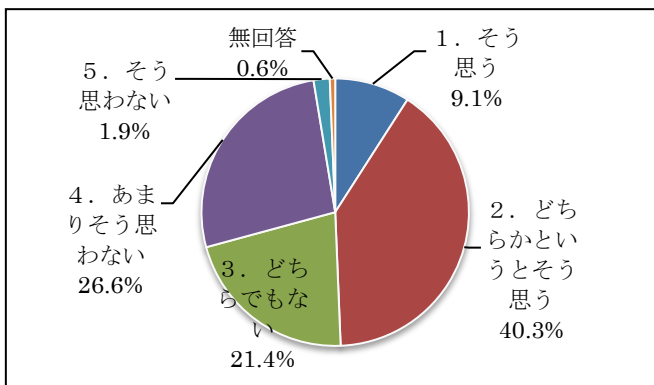
つきましては、いろいろな機会や方法を活用して、市民の皆さんの本市の観光への取組に関する認識や、他地域の人に知ってもらいたい本市の魅力などについて把握する必要があることから、このたび市政モニターの皆さんのご意見をお聞きし、観光振興計画策定の基礎資料にしたいと考えていますので、アンケートへのご協力をお願いします。

(担当課：運輸観光課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市はこれまで観光に力を入れてきたと思いますか。(1つ選択)

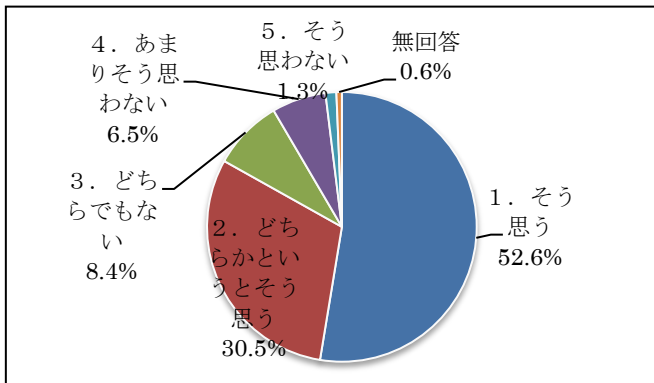
1. そう思う	14 人
2. どちらかというと思う	62 人
3. どちらでもない	33 人
4. あまりそう思わない	41 人
5. そう思わない	3 人
無回答	1 人
合計	154 人



「2. どちらかというと思う」(40.3%)と答えた方が最も多く、次いで「4. あまりそう思わない」(26.6%)、「3. どちらでもない」(21.4%)の順となっています。

問3. 新居浜市は、今後観光に力を入れていくべきだと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	81 人
2. どちらかというと思う	47 人
3. どちらでもない	13 人
4. あまりそう思わない	10 人
5. そう思わない	2 人
無回答	1 人
合計	154 人



「1. そう思う」(52.6%)と答えた方が最も多く、「2. どちらかというと思う」(30.5%)を合わせると、全体の8割以上の方が、新居浜市は今後観光に力を入れていくべきと考えていることがわかりました。

問4. 問3の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【問3で「1. そう思う」「2. どちらかというところ思う」と答えた方からの回答】

- ・観光に力を入れて新居浜に人が集まるようになると、郷土のアピールになり、物産も伸びると思う。
- ・地域の活性化、経済的効果が期待できる。
- ・新居浜市のいいところをもっとアピールして多くの人に新居浜を訪れてもらい、市の活性化につながれたらいいと思います。
- ・新居浜市の製造業が厳しい中、観光で市に活気が出ればよいと思う。
- ・観光客が多く訪れるところは地元住民にとっても良いところだと思うし、活性化もできると思う。
- ・観光事業での収益が増えると市の活性化につながり、市民の暮らしやすさにもつながり、住みたいまちとして評判が上がって住民が増える。また、優れた観光資源があることは市民の誇りになるのでは。
- ・新居浜には太鼓祭りや別子銅山など、他の地域に負けない観光資源があるので、積極的にPRしていけばいいのでは。
- ・新居浜市は別子銅山を柱とした、他の地域にはない観光資源を持っているから。
- ・海、山とも自転車で1時間以内に行けるところは他にないと思う。その自然を活用していく。
- ・まだまだ見落とされている観光資源があると思う。それらに目を向けてもらうためにも、もっと観光に力を入れてほしい。
- ・山に魅力的な要素があると思うので、都市型観光より向いていると思う。
- ・新居浜と言えば太鼓祭りのイメージしかなく、正直ここがおすすめという場所はほとんどないと思います。観光できる場所、施設が増えると雇用も増えると思うし、一石二鳥だと思います。
- ・道の駅は遠いし、市外・県外の友達が遊びに来た時に案内できるところが全くないから。
- ・子どもを連れて遊びに行けるところが少ない。
- ・祭り以外の観光にも力を入れてほしい。
- ・市内で一日観光ができるようになれば最高です。
- ・他県の人々にもっと新居浜を知って来市してほしいから。
- ・新居浜は住友など日本を代表する会社等もあり、魅力もあるまちなので、もっと全国に新居浜の名を広め、たくさんの方が新居浜に遊びに来てほしい。
- ・駅前にホテルもできたし、いろんな人に来てほしいから。来て新居浜というところを知ってほしい。
- ・観光に力を入れることにより、市の内外からの人口交流拡大、ひいては市の発展につながって行くのではと思います。
- ・若い人たちが住み続けたいと思えるように、他とは違う、帰って来たくなる何かが多い方がよいから。
- ・せめて観光などで人を呼ばないと、人口減少化が進む中さびれてしまいそうで心配です。
- ・定住人口の増加につながる。行きたいまちは、住みたいまち。
- ・新居浜市の人口減少が避けられない中で、多くの方に新居浜市が住みよい環境であることを知っていただく機会が観光誘致だと思う。
- ・観光資源の数等から考えると、基本的には地場産業の発展を目指すべきと思うが、観光資源をより有効に活用するための施策に力を注いでも無駄ではないと思う。
- ・私たちの知らない「ふるさと」がまだまだある筈です。地域の歴史等、若い人に知ってもらうことが大切だと考えています。温故知新は大切なことであると思います。

【問4で「3. どちらでもない」と答えた方からの回答】

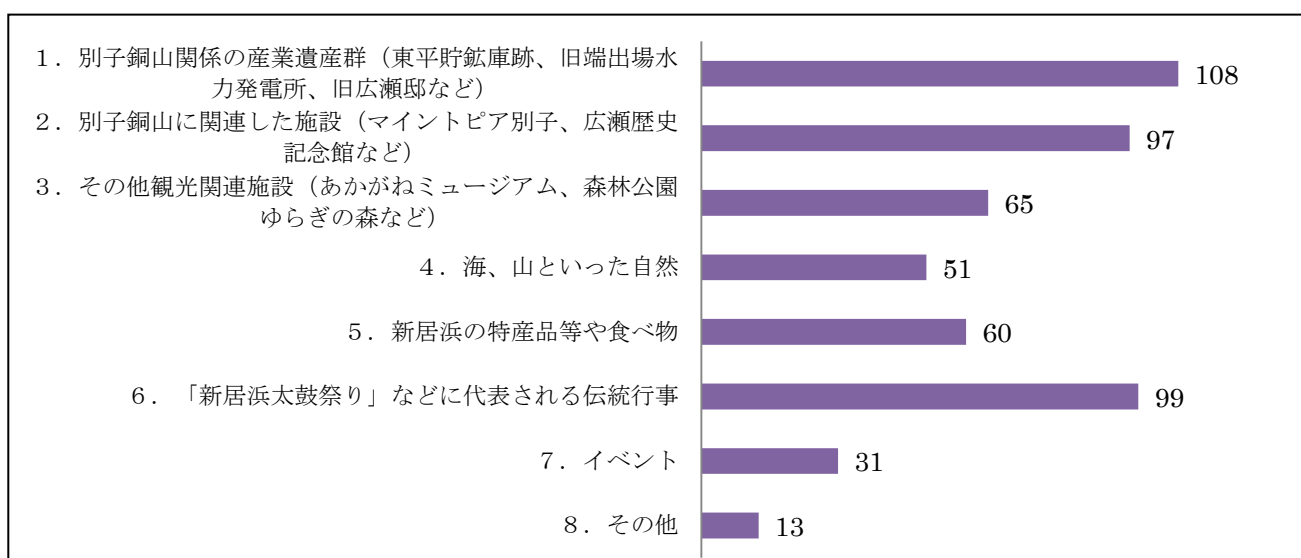
- ・新居浜市は工業のまちというイメージがあるから。
- ・特に観光と言えるものが少ない。マイントピア別子や産業遺産、秋祭りなどを有効に宣伝すべき。
- ・観光名所となるものや食べ物はあまりないのではないかと思います。それよりも住環境が良くて住みやすいまちにしてほしい。
- ・観光に力を入れていくべきものと、そうしなくていいものとの区別がない感じがする。
- ・過去から現在にかけての取り組み状況がよくわからないので、答えられない。

【問4で「4. あまりそう思わない」「5そう思わない」と答えた方からの回答】

- ・無理に観光に力を入れず、市民に新居浜市の良さを再確認してもらうことに力を入れてほしい。
- ・観光に力を入れても、観光スポットらしいものがない。
- ・観光以外の産業に力を入れた方が良く思う。
- ・観光客の増減は自分の生活に関係がないので、税金を使ってまで力を入れるべきではない。
- ・今のままでも良いのでは。
- ・必要性を感じない。観光に力を入れるメリットがあるのか、何がメリットなのかわからない。
- ・観光に力を入れる目的、主旨がよく見えない。交流人口の拡大、地域経済の活性化、地方創生を図ることにどう結びつくか？概念としてはわかるが、具体的にイメージしにくい。

問5. 新居浜市の観光資源のうち、何によって観光客の増加を図るべきだと思いますか。(複数選択)

1. 別子銅山関係の産業遺産群（東平貯鋳庫跡、旧端出場水力発電所、旧広瀬邸など）	108人
2. 別子銅山に関連した施設（マイントピア別子、広瀬歴史記念館など）	97人
3. その他観光関連施設（あかがねミュージアム、森林公園ゆらぎの森など）	65人
4. 海、山といった自然	51人
5. 新居浜の特産品等や食べ物	60人
6. 「新居浜太鼓祭り」などに代表される伝統行事	99人
7. イベント	31人
8. その他	13人



「1. 別子銅山関係の産業遺産（東平貯鉱庫跡、旧端出場水力発電所、旧広瀬邸など）」（108人）、「6. 「新居浜太鼓祭り」などに代表される伝統行事」（99人）、「2. 別子銅山に関連した施設（マイントピア別子、広瀬歴史記念館など）」（97人）などが多く挙げられています。

問6. 問5で「8. その他」と答えた方は、その具体的な内容を教えてください。

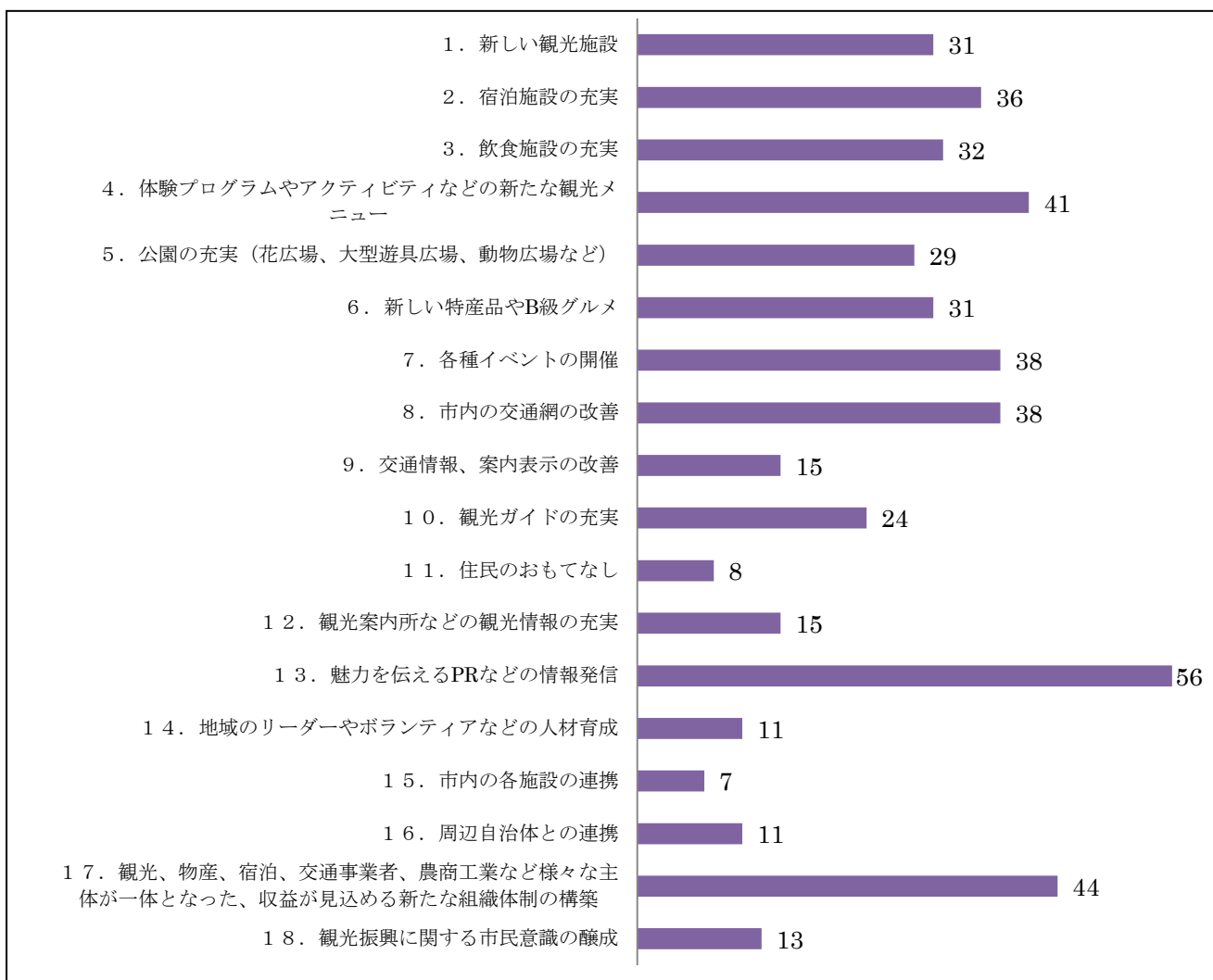
たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・世間では工場見学とか人気があるので、そういうのも含めた新居浜ツアー。登山道を整備しての登山イベント、大きな道の駅をつくって特産品や野菜、食べ物を販売する。
- ・小さな子たちも遊べるアスレチック広場をつくってほしい。
- ・大島に目を向けてもらう方法はたくさんあると思う。例えば、村上邸の大島郷土館化や村上水軍発祥の地と言われているのを今治市や尾道市とタイアップしながら水軍サミットのようなものを行うとか、大島の三大伝統行事をもっと知ってもらう努力をする、など。
- ・尻無川にホテルを復活させる。ホテル群も近く、いい話題になる。
- ・マイントピア別子は温泉施設はあっても宿泊施設がないので、ゆっくりとくつろげるものがあるとよいと思う。何か方法はないものか。年配の方がゆっくり体を休めながら、勉強ができるような施設などは？
- ・野外コンサート、B級グルメ、中島トライアスロンのような市の目玉となるイベント。
- ・別子銅山記念館。
- ・新居浜に興味を持って、東平やゆらぎの森までは遠すぎて山好きの方しかなかかなか行けないようです。いろいろなコースを作ってはいかがですか？
- ・観光資源とは主旨が違ふかもしれないが、子どもを中心に考えられないだろうか。親、祖父母が一緒なので、観光客増につながるのでは。
- ・どれも中途半端で、新居浜で観光資源になるようなものはない。
- ・新居浜だけの力ではもう無理。20年前ならまだしも今はもう手遅れだと思う。あきらめる。

問7. 新居浜市にもっと観光客に来てもらうために、必要なものは何だと思えますか。（3つ選択）

1. 新しい観光施設	31人
2. 宿泊施設の充実	36人
3. 飲食施設の充実	32人
4. 体験プログラムやアクティビティなどの新たな観光メニュー	41人
5. 公園の充実（花広場、大型遊具広場、動物広場など）	29人
6. 新しい特産品やB級グルメ	31人
7. 各種イベントの開催	38人
8. 市内の交通網の改善	38人
9. 交通情報、案内標示の改善	15人
10. 観光ガイドの充実	24人
11. 住民のおもてなし	8人
12. 観光案内所などの観光情報の充実	15人
13. 魅力を伝えるPRなどの情報発信	56人

14. 地域のリーダーやボランティアなどの人材育成	11人
15. 市内の各施設の連携	7人
16. 周辺自治体との連携	11人
17. 観光、物産、宿泊、交通事業者、農商工業など様々な主体が一体となった、収益が見込める新たな組織体制の構築	44人
18. 観光振興に関する市民意識の醸成	13人



「13. 魅力を伝えるPRなどの情報発信」(56人)、「17. 観光、物産、宿泊、交通事業者、農商工業など様々な主体が一体となった、収益が見込める新たな組織体制の構築」(44人)、「4. 体験プログラムやアクティビティなどの新たな観光メニュー」(41人)などが多く挙げられています。

問8. 問7で3つの項目を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【問7で「1. 新しい観光施設」を選んだ方からの回答】

- ・現在の新居浜市はいまいち魅力に欠ける。他の地域から、「よし、行こう!」とはならない。国道沿いに、新しい道の駅でも作ったらどうか。一度立ち止まってもらおうと、魅力に気付いてもらえるのでは。
- ・観光施設や遊べる場所が少ないと思う。若者を呼び込むにはインスタグラムなどで写真映えするようなおしゃれなカフェや空間が必要だと思う。
- ・一日中新居浜にいて観光できる場所がなく、数時間から半日の滞在で終わってしまっている。

【問7で「2. 宿泊施設の充実」を選んだ方からの回答】

- ・他市町に比べて宿泊設備が少ないために観光客は通過するだけである。
- ・別子銅山関係をPRし、新居浜へ宿泊してもらいたい。新居浜ならではの海の幸を提供してほしい。
- ・地元の農作物や魚介類を使用した料理をアピールした、お風呂も素敵な施設があると思う。

【問7で「3. 飲食施設の充実」を選んだ方からの回答】

- ・せっかく新居浜駅前に大きなホテルができたのに 飲食する所がないように思います。新居浜駅周辺に飲食施設が増えてほしいです。
- ・旅行での楽しみは、飲食が第一優先です。市内には有名店が少ない。
- ・観光と飲食、買物が一体化している施設があれば良い。

【問7で「4. 体験プログラムやアクティビティなどの新たな観光メニュー」を選んだ方からの回答】

- ・体で感じられる観光スポットはリピーターが増えると思う。
- ・体験をすると頭や心に残りやすく、また来たいというリピーターにつながる。
- ・SNSが発達した今、一方的な観光より双方のものの方がいいと思ったから。
- ・全てできればいいのですが、観光施設や宿泊施設は何かがないと投資が難しい。それならばまずは飲食店や、今あるものでできそうな体験系に特化していくべき。

【問7で「5. 公園の充実」を選んだ方からの回答】

- ・公園は年齢関係なく人が集まりやすいから。
- ・子育て世代には公園とか自然ありがたい。
- ・自分のことですが、年齢を重ねるにつれ綺麗な花のあるところに出かけています。季節に応じた花の充実などどうでしょうか。
- ・動物と触れ合えるところがないので、野良犬や猫、ハトにえさを与える人がいるのだと思う。

【問7で「6. 新しい特産品やB級グルメ」を選んだ方からの回答】

- ・特産品やB級グルメといったものは、今やどこの市や町にもあって珍しいものではないけれど、人を呼ぶには一番の近道ではないでしょうか。
- ・食品や食事は、初めにかかるお金は少なくて長くいろんな人に興味を持ってもらえると思うので。
- ・来てもらいたいと思うのであれば、他とちがう特長、めずらしさがなければ駄目だと思うので、その部分を開発する必要がある。
- ・新居浜市に観光に来た人が買って帰る土産品が少ない。

【問7で「7. 各種イベントの開催」を選んだ方からの回答】

- ・新居浜での滞在時間が長くなるようなイベントや観光スポットの充実。そして楽しんでもらい、気持ちよくお金を使ってもらえることが大切だと思うので。
- ・新居浜には目新しいイベントがないから。笑顔甲子園はいい方向だと思う。
- ・新しい施設を作るのは難しいからです。
- ・マラソン大会などの開催。
- ・シャッター商店街をなんとかしてイベントなども行い、まず市民が楽しめば、そこから広まっていくのではないかと。

【問7で「8. 市内の交通網の改善」を選んだ方からの回答】

- ・東平などを車で移動するのは結構厳しい。公共の移動手段を工夫して、環境面も配慮したほうがいい。
- ・市内の交通網は、どうせ車がないと駄目なら、思い切ってシェア交通網や公共交通網を充実させて先進的な田舎にするといいのでは？
- ・秋祭りは混雑するので、他県からの観光者は行きづらい。主な見物地にバスなど走らせてはどうか。

【問7で「9. 交通情報、案内表示の改善」を選んだ方からの回答】

- ・交通情報、案内表示というのは市民にわかるだけでなく、市外から来た人にとって必要な箇所での交通情報・案内表示となるように改善すべきで、広域的な目で見たい案内表示が望まれる。
- ・道がわかりにくい。
- ・高齢者が道に迷わない配慮とゆったりとくつろげる宿を提供したい。

【問7で「10. 観光ガイドの充実」を選んだ方からの回答】

- ・自分が他のところへ行って「良かったな」と思うところには、大体素敵なガイドさんや地域の方がいたから。まずは観光資源よりも地元が好きでそれをお客さんにお勧めできる人材がほしい。

【問7で「11. 住民のおもてなし」を選んだ方からの回答】

- ・各自治会、自治体でイベントをする際に、そこに住んでいる人の参加やお手伝いによるおもてなしをしていると、とてもあったかい気持ちになれる。
- ・新居浜には、四国八十八ヶ所のお寺は存在しないが、お遍路さんは旧街道を歩いて通過しており、お寺が存在する地域のおもてなしを学ぶべきではないかと思う。お遍路さんに対してのおもてなしだけでなく、他所からのお客さんに対してはもちろんのこと、近隣住民に対してのおもてなしも一人ひとりが学ぶべきだと思う。

【問7で「12. 観光案内所などの観光情報の充実」を選んだ方からの回答】

- ・駅でパンフレットや案内モニターが流れているのですが、やはりルートがわかりにくいと思います。
- ・県内の人でも東洋のマチュピチュを知らない人が多い。新居浜の秋祭りも見ることがない人が多い。PRをもっとしていく必要がある。

【問7で「13. 魅力を伝えるPRなどの情報発信」を選んだ方からの回答】

- ・広報、アピールが不足している。全国に向けたPR活動が必要。
- ・情報発信がないと魅力の少ない所は他の観光地に埋もれてしまう。
- ・観光PRが南予に負けています。テレビ、ラジオ、新聞、マスコミ利用、ホームページの充実を。
- ・ショッピングセンターで南予の観光アピールに来られている方々を何度か見かけました。新居浜の観光アピールを他地区で行っているかどうか知らないのですが、もし行っていないならぜひ行ってみたいと思います。
- ・マイントピア別子、東平等の歴史的な事柄をPRした方が良いと思う。
- ・一番重要なのは太鼓祭りのPR、若人の流出も抑えることができると思います。まずは平和運行から。
- ・インターネットで時間やお金を使わずに気軽に調べられることが重要だと思う。

【問7で「14. 地域のリーダーやボランティアなどの人材育成」を選んだ方からの回答】

- ・投資をしなければその見返りが無い。
- ・新居浜市民自身が市の良さをよくつかんでいないのではないかな。
- ・場所で呼ぶには限界があるので、人とのつながりで呼ぶ事ができれば良い。

【問7で「15. 市内の各施設の連携」を選んだ方からの回答】

- ・施設共有のクーポンや情報交換、巡回バスなどのさまざまな連携が必要。

【問7で「16. 周辺自治体との連携」を選んだ方からの回答】

- ・観光も進化が必要。一市では無理でも近隣他市との連携でコースも追加可能だと思います。
- ・観光資源は概して近隣市町との共有資源です。競争とともに協力が不可避でしょう。

【問7で「17. 様々な主体が一体となった、収益が見込める新たな組織体制の構築」を選んだ方からの回答】

- ・新居浜市全体で考えなければ観光産業として収益が見込める組織は構築できないと思う。

- ・収益が見込める体制が整わないと次へと続かない。
- ・単独で進めるよりはチーム新居浜としていろいろな分野がつながると強いパイプができ、新しい発想がわく。
- ・新居浜市には世界に通用する産業がたくさんあると思う。中でも住友重機械工業が手掛けているがん治療の設備について世界に広めていくPRをしたらどうか。

【問7で「18. 観光振興に関する市民意識の醸成」を選んだ方からの回答】

- ・観光振興を市民の皆さんにも意識していただくとよりよい活動ができるのでは、と思います。
- ・市民の観光振興意識は特定の人を除いて希薄だと思う。
- ・自分の市の歴史他をもっと各々が知る必要があると思う。私も今からでも知りたい。
- ・市民一人一人が観光ガイドであり、新居浜市の広報マンでありたい。

問9. 他の地域の人に知ってもらいたい新居浜市ならではの良いところを教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・やはり新居浜太鼓祭りが一番です。
- ・山根グラウンドでの太鼓台かきくらべ。
- ・全国に誇れる太鼓祭りがある。ただ、毎年のように鉢合わせがあったり、喧嘩したりと負の要素もあるので、改善してほしい。
- ・秋祭りも当日だけでなく、準備から細かい所をしっかりと詰めながらしているのが良いので、過程を見てもらえたり、体験できたらいいと思う。
- ・何と言っても別子銅山に関連した施設や産業遺産群。他市にない所がたくさんあると思う。
- ・残念ながらこれといったものはない。強いて言うなら別子銅山遺産しかないであろう。
- ・住友の歴史と、その人間ドラマを知ってもらいたい。
- ・山根グラウンドから東平までの産業遺産群と、新緑から紅葉までの景色。
- ・東平だけでなくぜひ旧別子にも登ってほしい。季節によってアケボノツツジやツガザクラ、紅葉なんかも素敵だと思う。
- ・海も山もあり、自然に恵まれているところ。
- ・新居浜市に引っ越してきた方が、新居浜は海と山が近く景色が良いと言っていました。この景色を見慣れていた私には、考えたこともなかったことでした。新居浜市をアピールする手がかりになればいいと思います。
- ・浜が綺麗、特に垣生海岸の夜景は工場の光も見えて綺麗だし、砂浜も良い。
- ・自然が近くにあるので、サイクリングロードを整備したり、レンタルサイクルなどをして、ゆったりのおんびり過ごしていけるところをアピールしたら良いと思う。
- ・河川敷。散歩に行くのですが、春は桜がとても綺麗です。
- ・名水百選に負けない、いやそれ以上の美味しい水。
- ・大島の自然。
- ・魚が新鮮でおいしい。
- ・マイントピア別子の温泉。
- ・あかがねキッズパーク。掃除が行き届いていて子どもを安心して遊ばせられる。

- ・花火大会。
- ・マリンパークでのイベント。キャンプコーナー。
- ・市民プール。
- ・10円プールと家庭ごみ収集・処分無料は継続してほしい。
- ・広瀬公園の桜。マイントピアの紅葉。
- ・広瀬歴史記念館。20年振りに訪れて、改めて広瀬宰平翁の偉大さを感じた。新居浜の偉人をもっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・多喜浜小学校に作っている塩田の施設、歴史資料。
- ・美術館ができたので活用する。
- ・いもたき。他の地域にはないところをアピールできたらいいなと思います。
- ・観光、遊び、買い物において車でまわりやすい。駐車場代がかからないのが良い。
- ・B級グルメが豊富。
- ・工場群があつて働く場があり、病院等の施設もわりと充実しているのに、自然も豊かで海産物、農産物も新鮮でおいしい。
- ・工業のまちとして栄えている。
- ・子育てしやすいまち、出生率が高い。
- ・災害が少なく、物価も安く、生活しやすく、犯罪もなく安全な市。
- ・言葉遣いは荒いところもあるが、人は優しい。
- ・新居浜市は産業に恵まれており、愛媛県の中でも生活豊かなまちであると思います。その生活の豊かさが、人の心の豊かさにもつながっていると思います。

問10. その他、本市の観光振興に関連してご意見がございましたらお聞かせください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・新居浜市の観光資源として他市に誇れるのは、「別子銅山関係」と「太鼓祭り」だと思う。現段階では、この2点で観光客に来てもらえるよう、またリピート客が増えるよう、早急に検討し改善する必要があると思う。
- ・観光資源をどういう形にして観光客に観てもらえるのか、その整備ができていないのではないのでしょうか。例えばお祭りをどう観光客の方に観ていただき、どうお金を遣っていただくのか、具体的な方策等。
- ・太鼓祭り以外にもお金をかけてほしい。山根公園のように一日中遊べる、駐車場も確保した広い公園があれば、イベントもできるし集客も見込めると思う。
- ・山根グラウンド、別子銅山記念館から東平にかけて、産業遺産群と自然をテーマにしたテーマパークを作る。旧銅山鉄道の復活、特産品の販売、採掘体験など。食事、入浴、宿泊ができる施設を作れば産業が潤う。新居浜市の施設はどれも中途半端なものが多いと思うので、中途半端でなく観光客が多数来てもらえるようなものを作る。
- ・マリンパーク近くに温泉施設があれば、確実に年中賑やかになる。
- ・東京オリンピックへの新居浜太鼓台の参加。
- ・銅山の里自然の家を早く復活させ、あの周りに体験型スポットを新設してほしい。
- ・新居浜駅前が何もない。あかがねミュージアムは新しくできたが、もっと商業施設が集まるべき。

- ・大島をうまく開発すること。
- ・手軽に行ける大島にプチ動物園のように、ウサギやニワトリ、ヤギ、牛、馬などがいて、家族で食事ができたり、手軽な売店、電動自転車などがあれば楽しめそう。あかがねミュージアムの中に大きい水槽を置いて水族館もどきとか。子どもの楽しめるイベントや場所があれば、子どもに合わせて両親祖母など家族が動き、お金が回る。
- ・池田池公園に久しぶりに出かけたが、市民の憩いの場所としてではなく、観光資源としてもっと役立ててほしいと思っている。幸いなことに地元のイベント行事もたくさんあることを考えると、イベントと融合させれば活性化を図れるのではないかと思う。
- ・えびちくわなど、じゃこ天に負けない美味しいものをアピールしたらいいと思います。
- ・スポット的なイベントに留まらず、継続的な運用の取り組みが必要です。
- ・秋祭りのイメージを良くする必要がある。ニュースでけんか太鼓が取り上げられるので、市外の人にはあまりいいイメージがないです。
- ・新居浜は観光化しても、なかなかお金が落ちてこないと思われる。松山への、松山からの通過点であり、長時間滞在する場所になっていない。宿泊設備を増やしても、観光用では維持できないでしょう。そのあたりをどう対応するかが鍵となる。
- ・新居浜市だけでは集客力が弱いので、道後温泉とセットで考えること。
- ・マイントピア別子等のハコモノに頼らず、豊かな自然を身近に体験できるように、道路や駐車場の整備をしていただきたい。
- ・別子銅山産業遺跡群巡りで、東平への入口から東平までの山道が狭いので、行くのにパワーが要る。整備されてはどうか。
- ・今あるものを十分に活かすために、もっと知恵を絞ってほしい。いわゆる有識者とされる有名人ばかりでなく、それぞれの場所について、この人に聞けばよく知っているというものを把握し、その人たちに話を聞きながら進めてほしい。
- ・正直に言います。観光にはあまり力を入れなくてもいいと思う。変な「ハコモノ」は作るな！
- ・観光振興より住民たちへの充実が一番だと思う。観光を売りにするようなことはまだ無理かと思う。
- ・人口が減っているのでPRをすること。
- ・PRが劣っているように思う。他市に比べると新居浜は観光地があるのだから。
- ・新居浜市の観光ホームページが見にくい。旅行地を探すなど、観光に行く前はワクワクしながら、色々検索することが多いと思う。新居浜市のホームページはワクワク感が削がれるし、トップを見ても観光地名を見ただけでは意味がわからない。写真を載せるなど、さらにクリックして「見てみたい！」と思うページ作りをしないと他の観光地に負けると思う。下手に観光情報を載せないで、新居浜市観光サイトへ譲った方が良く思う。
- ・ガイドブックなどをもう少し明るく、若い子たちの目を引くようなデザインにできないか。太鼓台のものばかりでは飽きてしまいます。
- ・観光だよりを季節ごとに発刊してはどうか。
- ・県外で活躍している著名人をふるさと観光大使に任命していますが、新居浜市の観光振興に興味がある県外在住者や市内在住の一般市民にも観光大使のような役割を担ってもらい、身近な人たちに新居浜をアピールしてもらったら観光振興につながると思います。
- ・今まで大切にしてきた文化や自然を、無理にイベント化せずに市民の目線で紹介してほしい。
- ・観光振興を市民の皆さんに意識していただき、市民全員で考えていければ、と思います。

<まとめ>

今回は、これまで市民の皆様からの関心があまり無かったと思われる「観光振興」に焦点を当ててアンケートを実施いたしました。

まず、問2において、これまでの本市の観光への取組状況に対する市民意識では、「観光に力を入れてきたと思うか」との問いに対して、「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答した人の割合が合わせて49.4%であった一方、「どちらでもない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が合わせて49.9%と、ほぼ同数という結果でした。このことは、新居浜市といえば工都というイメージが強く根付いており、市民意識として、新居浜と観光というイメージがあまり結びつかない現われではないかと考えます。

しかしながら、問3の「今後観光に力を入れていくべきだと思うか」との問いに対しては、「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答した人の割合が合わせて83.1%と、非常に多くの人が観光振興に関心を示していることがわかり、地域経済の活性化や地方創生の方策として、観光振興が有効な手段であると認識していることがうかがえます。

問5における、本市の観光資源のうち、なにを活用すべきかとの問いに対しては、「別子銅山関係の産業遺産群」、「別子銅山に関連した施設」と回答した人が最も多く、本市が全国誇るべき観光資源であると認識している一方、自由意見ではアクセス性の悪さや、PRが充分できていない、あるいは市民自身が産業遺産に関する知識がないなどの意見が寄せられ、今後、観光資源化していく上での課題点や市民意識とのギャップが浮き彫りとなっています。

「新居浜太鼓祭り」についても多くの人が観光資源であると認識していますが、毎年のように鉢合わせや喧嘩が発生しているという負の要素もあり、今後、全国に誇れる観光資源としてPRしていくためには、平和運行の達成と定着が必要不可欠であると考えます。

また、海や山といった自然については、特に市外から引っ越して来られた人にとっては大いに魅力を感じている要素となっており、市民が未だ気付いていない新たな観光資源として開発していける分野ではないかと考えます。

今回のアンケート調査を実施して特筆すべき点は、本市の観光振興の取り組みに対する良い点、悪い点について、非常に多くのご意見が寄せられたことです。良い点については、今後においても積極的にアピールしていくことはもちろんですが、悪い点は、今後改善していくことにより、新たな観光の武器となる可能性を秘めていると言えます。

そして、なによりも市民の皆様が、新居浜市のいい所をもっと知ってもらいたいという熱い思いを感じることができました。

今年度取り組んでいる「新居浜市観光振興計画」の策定においては、観光施設等におけるヒアリング調査やモニターツアーの実施、さらには市民の皆様も参加できるワークショップを開催するなど、様々な角度から本市観光の目指すべき姿を洗い出す作業を進めているところです。また、時機を見て市民の皆様にも計画案を提示し、ご意見をいただくことを考えておりますので、引き続き当該取り組みに対するご理解とご協力をお願いいたします。

(担当課：運輸観光課)